LG
Life's Good

取扱説明書

ネットワーク3D ブルーレイディスク™/DVDプレーヤー

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。お読みになったあとは
保証書と共に大切に保管してください。

BP630

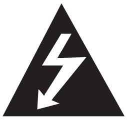
MFL67732212

http://www.lg.com/jp

安全にお使いいただくために



注意: 本機のカバーを開けないでください。感電の原因となる場合があります。製品内部にはお客様ご自身で修理できる部品はございません。修理が必要な場合は、当社カスタマーサポートセンターまたは、お買い上げの販売店へご相談ください。



正三角形内の稲妻形矢印マークは機器内部の絶縁されていない危険な電圧により感電の危険があることを警告するものです。



正三角形内の「!」の表示は注意を促すマークで、本製品付属の取扱説明書に、操作や補修での重要な指示が記載されていることを示しています。

警告: 異常に温度が高くなるところや、湿気のあるところに設置しないでください。火災の原因になることがあります。

警告: 本機を、本棚などの放熱を防げない狭い場所に設置しないでください。内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

注意: 製品の開口部の前にものを置いたりしないでください。
本機を設置する際には、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく行ってください。
キャビネットの溝や開口部は、本製品が正常に動作するためのものであり、製品内部に熱がこもらないようにします。本機を高い場所や、振動や衝撃が起こる場所などに置かないでください。また、本製品を備え付けの本棚やラックなどに設置する場合は、十分な換気性を確保してください。

CLASS 1	LASER PRODUCT
KLASSE 1	LASER PRODUKT
LUOKAN 1	LASER LAITE
KLASS 1	LASER APPARAT
CLASSE 1	PRODUIT LASER
KELAS 1	PRODUK LASER

注意: 本機の内部には、クラス1の可視・不可視レーザー光線が照射されていますので、製品の内部を直接のぞかないでください。

本機のご使用の際には、取扱説明書をよくお読みいただき、誤った使い方をしないでください。

クラス1 レーザー製品
光学器具で直接ビームを
見ないでください。

電源コンセントに関するご注意

コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
また、絶縁体がひび割れているなど損傷のある電源コードは使用することも危険です。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントからコードを抜き、製品のご使用を中止し、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。電源コードは、曲げたり、ねじったり、締めつけたり、ドアを閉める際に挟んだり、踏みつけるなどの誤った使い方をしないようご注意ください。電源コンセントとプラグ、およびプラグとコードの接続部分などについては、特にご注意ください。本機を長期間使わないときやお手入れを行うときなどに、主電源を切る場合は、本体の電源プラグを抜いてください。

本製品はポータブル電源または蓄電池を装備し ています。

製品から安全に乾電池または電池パックを取り出す方法 : 古い乾電池または電池パックを取り外 す場合は、取り付けた時と逆の順序で行ってください。環境汚染を防止し、人や動物の健康へ の脅威を引き起こさないために、古い乾電池ま たは電池パックを適切な容器に入れ、指定の収 集場所に置いてください。乾電池や電池パック を他の廃棄物と一緒に処理しないでください。お住まいの地域の、乾電池や蓄電池の無料償還　制度をご利用になることをお勧めします。火の 近くや日光があたる場所など、極度な高温にな る場所に電池を置かないでください。

注意: 本機が水滴やはね水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

本機が電源コンセントに接続されているときは、本機の電源スイッチを切っても、電源は接続（スタンバイ）状態になっています。

本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権に関するご注意

- Blu-rayディスク フォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (AdvancedAccess Content System) に承認されているため、DVD フォーマットでの CSS (ContentScramble System) と同様、AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。本製品の生産後にAACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
- また、Blu-rayディスク フォーマットの著作権保護技術として BD-ROM Mark や BD+ も採用されており、BD-ROM Mark か BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生制限などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。
このためプレーヤーは、直接テレビと接続し、ビデオは接続しないでください。ビデオに接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許及び他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはRovi Corporationによる認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または用途の限られた視聴のみに使用されるようになっています。解析や分解は禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任またはその両方を科せられる場合があります。

目次

1 はじめに

2 接続する

3 設定する

4 操作する

5 困ったとき

6 その他

1
2
3
4
5
6

ご利用いただけるサービス内容や画面は、機種や使用環境、またはサービス提供者の方針により、予告なく変更または追加される場合があります。

はじめに

再生可能なディスク、およびこの取扱説明書で使用される記号

メディア/用語	ロゴ	記号	説明
Blu-ray	Blu-ray Disc / Blu-ray 3D / Blu-ray 3D 3D ONLY	BD	• 販売やレンタルされた映画などのディスク • 「Blu-ray 3D」ディスクおよび「Bluray 3D ONLY」ディスク • BDAV形式で録画されたるBD-R/REディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたBD-R[*1]/REディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-ROM DVD-R DVD-RW DVD+R DVD+RW (8 cm, 12 cm)	DVD VIDEO / DVD R / DVD RW / RW DVD+R / RW DVD+ReWritable	DVD	• 販売やレンタルされた映画などのディスク • ムービーモードで記録され、ファイナライズされたディスク • ２層式再生対応 • AVCREC フォーマットで記録された DVD-R/DVD-RW ディスク
		AVCHD	AVCHD 規格でファイナライズされたディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたDVD±R ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-RW (VR) (8 cm, 12 cm)	DVD RW	DVD	VRモードで記録され、ファイナライズされたディスクのみ
Audio CD (8 cm, 12 cm)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	ACD	オーディオCD
CD-R/RW (8 cm, 12 cm)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable ReWritable	MOVIE MUSIC PHOTO	• 音楽タイトル、映画、音楽、または写真ファイルが記録された CD-R/RW ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
ヒント	–	!	特定の注意と操作の特徴を示します。
注意	–	⚠	乱暴な取り扱いによる故障を防ぐための注意を示します。

* 1 : LTHタイプも再生できます。

! ヒント

- 記録装置の条件やCD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスク自身がもつ機能に応じて、CD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスクは本機では再生できないものがあります。
- ディスクが破損したり汚れ、または本機レンズ上の汚れや結露がある場合は、パーソナルPCやDVDまたはCDレコーダーを使用して記録されたBD-R/RE、DVD±R / RWおよびCD-R/RWディスクは再生できない場合があります。
- パソコンを使用してディスクを記録する場合は、それが互換性のある形式で記録されている場合でも再生できないことがあるケースがあります。この場合、詳細についてはご使用の記録ソフトウェア側の仕様をご確認ください。
- 最適な再生品質でコンテンツをお楽しみいただくには、一定の技術基準に合わせて記録されたメディアやディスクなどをご使用ください。

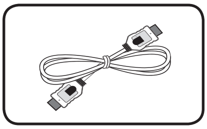
「⊘」 記号の表示について

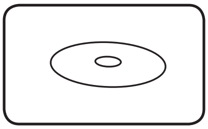
テレビ画面での操作中に「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、再生中のメディアの仕様によりご利用いただけないことを示しています。

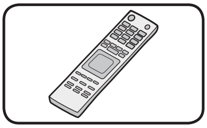
リージョンコード

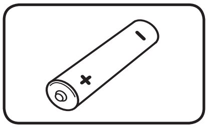
本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」のBD-ROM、DVD ディスクのみ再生することができます。

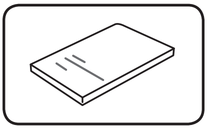
付属品

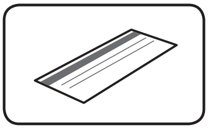

HDMIケーブル

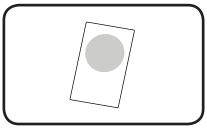

Nero MediaHome4 Essentials
インストール CD-ROM
(1枚)


リモコン (1個)

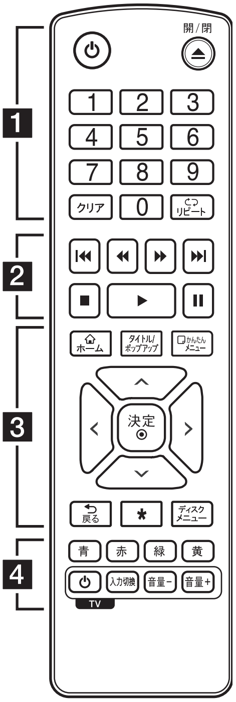

乾電池 (単4形 2本)


取扱説明書
(本書)(1部)

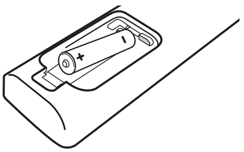

保証書(1部)


LG Tag On ステッカー

リモコン



電池を入れる



リモコンの裏にあるバッテリーカバーを外し、単4形電池（R03/AAA）を正しい ⊕ と ⊖ 向 きに入れてください。

・・・・・・・・ 1 ・・・・・・・

⏻ (電源): 本機の電源をオン/オフします。

⏏ (開/閉): ディスクトレイの開/閉をします。

0〜9 番号ボタン: メニューの項目番号を選択します。

クリア: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

リピート(⮔): 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

・・・・・・・・ 2 ・・・・・・・

◀◀ / ▶▶ (巻戻し/早送り): 早送り/早戻しをします。

I◀◀ / ▶▶I (スキップ): 前や次のチャプター/トラック/ファイルに進みます。

■ (停止): 動作を停止します。

▶ (再生): 再生を開始します。

II (一時停止): 再生を一時停止します。

・・・・・・・・ 3 ・・・・・・・

ホーム (⌂): [ホームメニュー]を表示/終了します。

タイトル/ポップアップ: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

かんたんメニュー(□): 再生する映像を表示/終了します。

方向ボタン: メニューの項目を選択します。

決定(⊙): 選択したメニューを決定します。

戻る (⮌): メニューの終了または前の画面に戻ります。

★: ボタン：どの機能でも利 用できません。

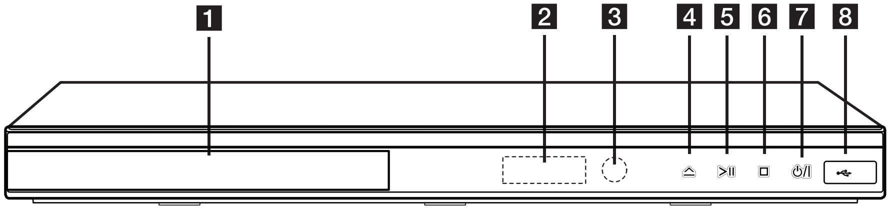
ディスクメニュー: ディスクのメニューを表示します。

・・・・・・・・ 4 ・・・・・・・

カラー (青, 赤, 緑, 黄) ボタン: BD-ROMメニューの操作に使用します。[動画]、[写真]、[音楽]、[プレミアム] メニューの操作にも使用します。

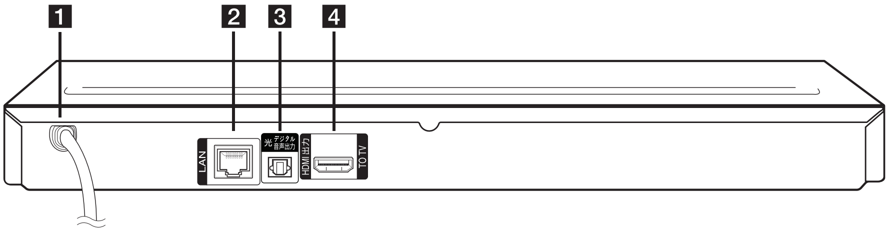
テレビ コントロールボタン:
52 ページをご覧下さい。

本体前面



1. ディスクトレイ
2. 表示ディスプレイ
3. リモコン受信部
4. ⏏ (開/閉)
5. ►II (一時停止)
6. ■ (停止)
7. ⏻/I (電源)
8. USB端子

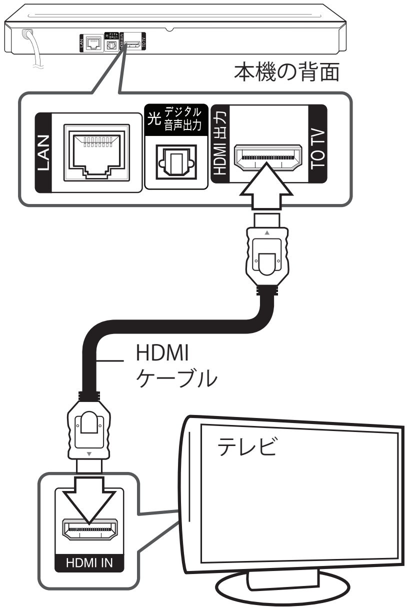
本体背面



1. AC 電源コード
2. LAN 端子
3. デジタル音声出力 (光) 端子
4. HDMI 出力

テレビへ接続する

HDMI入力端子対応のテレビやモニターをお持ちの場合、付属のHDMIケーブル（Aタイプ、High Speed HDMIケーブル）を使用して本機に接続することができます。



ディスプレイ機器（テレビやモニターなど）の表示画面をHDMI入力に切り換えます（ディスプレイ機器側の取扱説明書をご参照ください）。

ヒント

最高の接続品質のために要に応じてお使いのテレビ、オーディオシステム、または他の機器の取扱説明書をご参照ください。

HDMI 接続でのご注意

- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、次のことをご確認ください。
  - 最初に、本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器側の設定画面から、映像入力が、正しく本機に設定されていることを確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応している必要があります。
- HDCPに対応するすべてのHDMI/DVI機器に対して、動作を保証するものではありません。
  - HDCPに対応しない機器では、画像が正しく表示されません。

ヒント

- 接続されたHDMI対応機器が本機の音声出力に対応しない場合、HDMI対応機器からの音声が正常に出力されないことがあります。
- HDMI接続を使用するときは、HDMI出力の解像度を変更することができます。（11ページの「解像度の設定」をご参照ください）。
- [設定]メニューの[HDMIカラー設定]オプションを使ってHDMI出力端子の映像出力タイプを選択します。（22ページ）
- 機器の接続後に画面の解像度を変更した場合、画面が正常に表示されないことがあります。このような場合は、本機の電源を一度入れ直してください。
- 最新 High Speed HDMI ケーブル（長さ4.5m以内のもの）の使用をおすすめします。

SIMPLINKとは?

SIMPLINK

SIMPLINKに対応するLG製のテレビをHDMIケーブルで本機に接続すると、テレビのリモコンで機器を操作することができます。

テレビのリモコンでの操作が可能な本機の機能は、再生、一時停止、スキップ、停止、電源のオン/オフなどです。

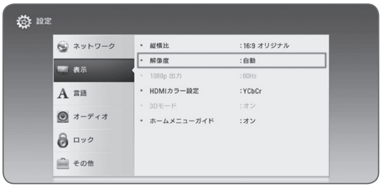
SIMPLINK機能の詳細については、テレビの取扱説明書をご参照ください。

> **! ヒント**
>
> ディスクの種類や再生状況に応じて、いくつかのSIMPLINK機能が動作しないことがあります。

解像度の設定

本機では、HDMI接続時に出力する映像の解像度を変更することができます。
[設定]メニューを使って解像度を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。
2. </>を使って、[設定]を選択して決定(⦿)を押します。[設定]メニューが表示されます。
3. [表示] の項目を選択するために、Λ/V を使い、決定(⦿)を押して第 2 階層へと移動します。
4. [解像度] の項目を選択してから、Λ/V を使い、決定(⦿) を押して第 3 階層へと移動します。



5. Λ/Vでお好みのの解像度を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。



ヒント

- お使いのディスプレイ機器（テレビやモニターなど）が、本機に設定されている解像度に対応しない場合は、次の手順で480pの解像度に設定することができます。
  1. ディスクトレイを開くには、 ⏏ を押します。
  2. ■ (停止)を5秒以上押します。
- 手動で解像度を選択してからテレビとHDMI端子を接続した場合、お使いのテレビがその解像度に対応していない場合は、解像度は[Auto]に切り換わります。
- テレビが本機の解像度に対応していない場合は、画面上にお知らせメッセージが表示されます。この場合、解像度の設定を変更してから、20秒ほどお待ちください。解像度は自動的に以前の状態に戻ります。
- 1080p映像出力のフレームレートは、ご使用のディスプレイ機器の性能またはコンテンツ本来のフレームレートに合わせて、自動的に24 Hzか60 Hzのいずれかに設定されます。

アンプとの接続

お持ちの機器の対応を確認し、以下の接続方法で接続を行ってください。

- HDMI 端子との接続 (13ページ)
- デジタル音声出力端子との接続(13ページ)

さらに詳細な情報については、「オーディオ出力の仕様」をご参照ください。(58 ページ)

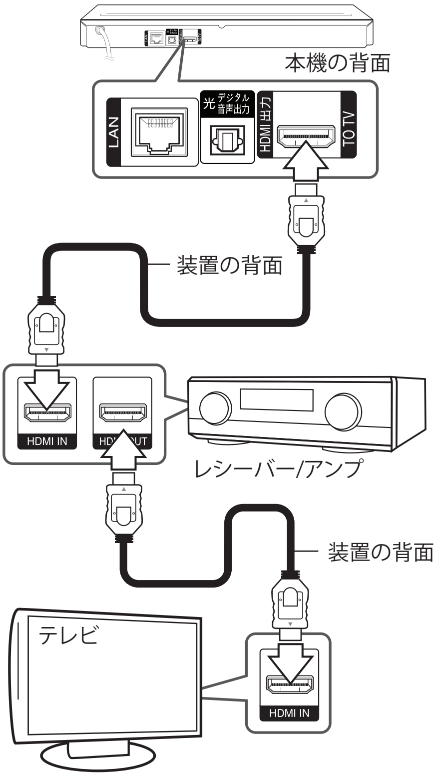
デジタルマルチチャンネルサウンドについて

デジタルマルチチャンネルによる接続で、さらに高品質のサウンドをお楽しみいただけます。
この接続には、次のうちいずれかのオーディオフォーマットに対応するマルチチャンネルオーディオまたはビデオレシーバーが必要です。

・PCM ステレオ
・PCM マルチチャンネル
・ドルビーデジタル
・ドルビーデジタルプラス
・ドルビーTrueHD
・DTSまたはDTS-HD

HDMI 出力とアンプを接続する

お持ちのアンプにHDMI 出力端子が搭載されている場合は、HDMI ケーブルを使って、アンプのHDMI出力端子をテレビのHDMI入力端子に接続してください。

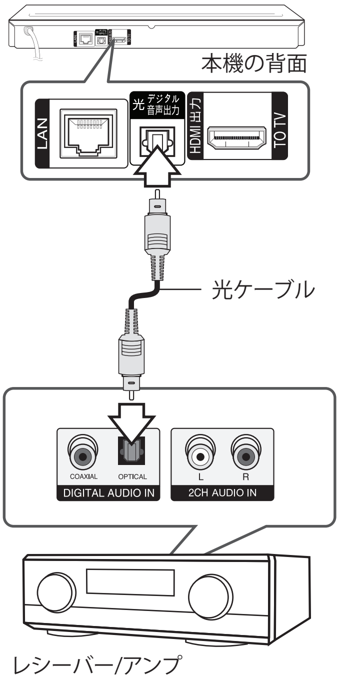


お持ちのアンプにHDMI 出力端子がある場合は、HDMI ケーブルを使って、アンプのHDMI 出力端子をテレビのHDMI 入力端子に接続してください。このとき、アンプ側の取扱説明書も合わせてご参照ください。

ケーブルの接続を完了してから、本機のデジタル音声出力の設定を行います。
（23ページ）

デジタル音声出力端子とアンプを接続する

プレーヤーのデジタル音声出力端子を、
別売のデジタルオーディオケーブルを使って、
アンプ側の対応する端子に接続します。



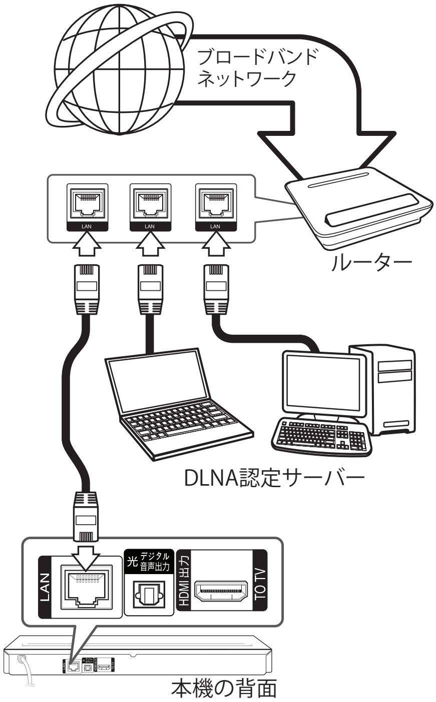
ケーブルの接続を完了してから、本機のデジタル音声出力の設定を行います。
（23ページ）

ホームネットワークに接続する

本機背面のLAN端子、または内部無線モジュールを経由して、ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続することができます。
ネットワークに接続すると、ソフトウェアの更新やBD-Liveインタラクティブ、プレミアムコンテンツなど、様々なサービスをご利用いただけます。

有線ネットワーク接続

- 本機をネットワークに接続するには、常時接続（ブロードバンド）のインターネット契約と、ルーターを利用しての接続が必要です。
- ネットワーク接続の際には、回線事業者からの案内事項およびルーターの取扱説明書などもよくご確認ください。
- 公共施設やオフィスなどネットワークが管理された場所でネットワーク接続を行うときは、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ケーブル類の接続およびルーターの設定内容を確認してから、本機の電源コードをコンセントに接続し、電源を入れてください。
- LANケーブルの抜き差しの際には、無理に引っ張らないでください。
- 電話用のモジュラーケーブルをLAN端子に接続することはできません。
- お持ちのパソコンをDLNAサーバーとして設定する場合は、本機に付属のインストールCDより Nero MediaHome 4 をインストールしてください。(32ページ)
- 別のDLNAサーバー機器から本機に接続する場合は、ルーターを利用して本機とDLNAサーバー機器を同じネットワークに接続する必要があります。



有線ネットワーク設定

ご使用のルーターにDHCP機能がある場合は、本機のIP アドレスなどが自動的に設定されるため、ネットワーク接続がより簡単になります。
そうでない場合は、次の手順で事前にネットワーク設定を行ってください。

1. [設定]メニューから[接続設定] オプションを選択して、決定(⦿)を押してください。



2. LANケーブルの接続やルーターなどの準備が終わってから、[スタート]ボタンを選択して、決定(⦿)を押します。



これでネットワーク接続は完了です。



詳細設定

手動でネットワーク設定を設定する場合は、[ネットワーク設定]メニューで∧/∨ を使って[詳細設定]を選択してから、決定(⦿)を押します。

1. ∧/∨ を使って有線を選択してから、決定(⦿)を押します。



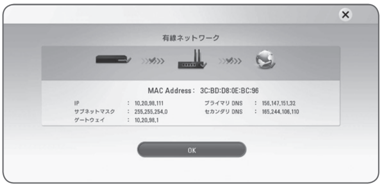
2. ∧/∨/</>を使って[自動]、または[固定]を選択し、IPアドレスの取得方法を設定します。

   通常は、[自動]を選択してIPアドレスを自動的に設定します。



> **ヒント**
>
> ご使用のルーターまたはネットワーク環境がDHCP機能に対応しておらず、IPアドレスを手動で設定する場合は、[固定]を選択してから、∧/∨/</> と数字ボタンを使って[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]と[DNSサーバー]を設定します。

3. [次へ]を選択してから、決定(⦿)を押してネットワーク設定を行います。

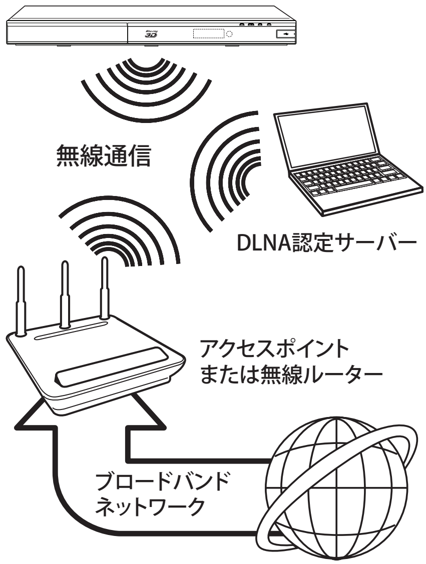


これでネットワーク接続は完了です。

2 接続する

無線ネットワーク接続

無線LANルーターをご使用の場合は、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。無線LANで接続する場合は、アクセスポイント(ルーターなどの無線親機)の「SSID」、「セキュリティキー」などの情報が必要な場合があります。ルーターの取扱説明書などから、これらの情報を事前にご確認ください。



無線ネットワーク設定

次の手順で、[設定]メニューから、無線ネットワークの設定を行います。

- ご利用のルーター、ハブなどの設定には、PCが必要となる場合があります。ルーターの接続、設定方法についてご不明な場合は、ルーターをお買い上げの販売店へご相談ください。

準備事項

無線ネットワークを設定する前に、次を事前に確認しておくと便利です。

- 無線ホームネットワークをブロードバンドインターネットに接続します。
- アクセスポイントまたは無線LANルーターを設定します。
- ネットワークのSSIDとセキュリティコードを事前に確認します。

1. [設定]メニューから[接続設定] オプションを選択して、決定(⦿)を押してください。
2. ネットワーク設定の準備事項を読んでから、[スタート]ボタンを選択して、 決定(⦿)を押します。



3. ∧/∨ボタンで接続する無線ネットワークのSSIDを選択してから決定(⦿)を押してください。



アクセスポイントにセキュリティキーやSSIDが設定されている場合は、事前にご確認のうえ、入力してください。

ヒント

無線LANルーターやアクセスポイントのセキュリティキーは、誤って入力しないようご注意ください。



4. ∧/∨/</> で [自動]または[固定]を選択し、IPアドレスの取得方法を設定します。通常は、［自動］ を選択して IP アドレスを自動的に設定します。

ヒント

ご使用のルーターまたはネットワーク環境がDHCP機能に対応しておらず、IPアドレスを手動で設定する場合は、[固定]を選択してから、∧/∨/</> と数字ボタンを使って[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]と[DNSサーバー]を設定します。

5. [次へ]を選択してから、決定(⦿)を押してネットワーク設定を行います。



ネットワーク接続状態が画面に表示され、設定を完了します。

詳細設定

手動でネットワーク設定を行う場合は、[ネットワーク設定]メニューで∧/∨ を使って[詳細設定]を選択してから、決定(⦿)を押します。

次の設定を行う際には、接続するアクセスポイントまたは無線LANルーター機器側の取扱説明書も合わせてご参照ください。

1. ∧/∨を使って[無線]を選択してから、決定(⦿)を押します。



[APリスト] - 範囲内のすべての利用可能なアクセスポイント、または無線ルーターをスキャンし、そのリストを表示します。

[ネットワーク名（SSID）]-アクセスポイントはネットワーク名（SSID）を表示しない場合があります。お使いのPCでアクセスポイントの設定を確認し、SSIDを表示するように設定するか、または[ネットワーク名（SSID）]に手動でネットワーク名を入力してください。

[PBC] - PBC（プッシュボタン設定）機能に対応する無線ルーター、またはアクセスポイントで接続する場合は、このオプションを選択し120以下の数字でアクセスポイントのプッシュボタンを押してください。この接続では、ネットワーク名（SSID）やセキュリティコードを入力する必要はありません。

[PIN] - WPS（Wi-Fi保護設定）機能を利用したPINコードの設定機能に対応するアクセスポイントで接続する場合は、このオプションを選択し、画面上に表示されるコード番号をお控えください。その後、接続するアクセスポイント側の設定メニューでPIN番号を入力します。アクセスポイント側の取扱説明書などもご参照ください。

2. 必要な設定情報を入力したら、画面のご案内にしたがって、設定を完了します。

ヒント

PBCとPINネットワーク接続を使用するには、アクセスポイントのセキュリティモードをOPEN、またはAESに設定する必要があります。

ネットワーク接続に関する注意事項

- 多くの問題はルーターやモデムをリセットすることで解決できます。本機をホームネットワークに接続した後に、ホームネットワークのルーターまたはケーブルモデムの電源を切り、電源ケーブルを外してください。それから再度、電源ケーブルを差し、電源を入れ直してください。
- インターネットサービスプロバイダー(ISP)によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いのISP にお問い合わせください。
- 弊社は、ご利用のブロードバンド回線またはその他接続機器のエラーや故障による本機やネットワーク接続の性能不良についての一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できるBD-ROMディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、広帯域幅の接続が必要なものもあります。
- ネットワークが正しく設置されている場合でも、インターネットの利用環境やコンテンツプロバイダーの都合などにより正常に動作しない場合があります。
- ご契約されたインターネットサービスプロバイダー(ISP)で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- 接続料やその他ISP より請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 10BASE-T または100BASE-TX でのLAN ポートの無線接続が本機には必要です。ご利用のインターネットサービスがこのような接続に対応していない場合は、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- DSLサービスをご利用になるにはDSLモデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用になるにはケーブルモデムが必要です。ご利用のISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります。(ご利用のISP の契約が1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります)
- ルータの使用は許可されていないか、または、その使用量が、ISPのポリシーと制限に応じて制限される場合があります。詳細については、ISPに直接お問い合わせください。
- 無線ネットワークは2.4 GHz帯の無線周波数で作動します。無線電話、Bluetooth機器、電子レンジなどの他の家庭用機器も同じ周波数帯を使用し、無線ネットワークに干渉し影響を与える場合があります。
- 使用していないネットワーク機器は、電源を切っておいてください。不要なネットワークトラフィックが発生する場合があります。
- データ転送速度を向上させるために、本機をアクセスポイントに近い場所に設置することをお勧めします。
- 無線ネットワークのデータ通信速度は理想上の数値であり、アクセスポイントのタイプ、プレイヤーとアクセスポイントとの距離、設置場所などの要因により影響されます。
- アクセスポイント、または無線ルーターをインフラストラクチャモードに設定します。アドホックモードはサポートされません。

初期設定

初めて電源をオンにすると､初期セットアップウィザードが画面に表示されます｡初期セットアップウィザードの表示言語およびネットワーク設定を行います。

1. ⏻(テレビ 電源)を押します。

   初期セットアップウィザードが画面に表示されます。

2. Λ/V/</> を使って表示言語を選択し、決定(⦿)を押します。



3. ネットワーク設定の準備事項を読んで準備した後、[スタート]がハイライトされているときに決定(⦿)を押します。



   有線ネットワークが接続されている場合は、ネットワーク接続の設定は自動的に終了されます。

4. 利用可能なネットワークがすべて画面に表示されます。 Λ/V を使って[有線ネットワーク]、またはご希望の無線ネットワークSSIDを選択してから、決定(⦿)を押します。



   アクセスポイントにセキュリティコードが設定されている場合、セキュリティコードを入力する必要があります。

5. Λ/V/</> を使って[自動]と[固定]のどちらかのIPモードを選択してください。通常は、[自動]を選択してIPアドレスを自動的に設定します。



6. [次へ]を選択してから、決定(⦿)を押してネットワーク設定を適用します。



   ネットワーク接続状態が画面に表示されます。

   ネットワーク設定の詳細については、14ページをご参照ください。

7. 設定内容を確認します。



   [完了]ボタンを押して、初期設定を終了します。設定を変更したい場合は、Λ/V/</> を使って⮌を選択し、 決定(⦿)を押します。

設定

機器設定の基本的なやり方

[設定]メニューで本機の設定を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。



2. </> で[設定]を選択して決定(⦿)を押します。[設定]メニューが表示されます。



3. Λ / V で最初の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押して第2 階層へと移動します。



4. Λ / V で第2階層の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押して第3 階層へと移動します。



5. Λ / V でご希望の設定を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。

[ネットワーク] メニュー

[ネットワーク] の設定は、ソフトウェアの更新や、BD-Live、そしてオンラインコンテンツサービスなどの機能を利用するのに必要な設定です。

接続設定

本機を有線または無線ネットワークに接続することができます。詳細については、14ページをご参照ください。

接続状態

本機のネットワーク接続状態を確認する場合は、［接続状態］ 項目を選択してから 決定(⦿) を押します。

BD-LIVE接続

BD-Live 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。

[許可]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可]

所有者証明書のある BD-Live コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。証明書のないすべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能の利用は制限されます。

[禁止]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを禁止します。

Smart Service 設定

[国の設定]

設定した地域に合わせたオンラインコンテンツサービスを表示します。

[初期化]

地域によっては、[初期化]機能はご利用になれません。

デバイス名

画面上に表示されるキーボードを使って、本機の表示名を設定することができます。ホームネットワークをご利用の際に、ここで設定した表示名が表示されます。

Wi-Fi Direct

本機は、Wi-Fi Direct™に対応しています。Wi-Fi Directに対応する機器同士では、アクセスポイントやルーターが無くても直接接続できます。決定(⦿)を押すと、Wi-Fi Directメニューが表示されます。Wi-Fi Directでの接続方法については、43ページをご参照ください。

[表示]メニュー

縦横比

お持ちのテレビのタイプに対応する、テレビの縦横比項目を選択してください。

[4:3レターボックス]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3パンスキャン]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるように映像の両側が切り落とされて表示されます。

[16:9オリジナル】

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの4:3 アスペクト比で表示されます。

[フル16:9]

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像は、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向(左右)に引き伸ばされます。解像度が720p 以上に設定されている場合は、[4:3レターボックス]と[4:3パンスキャン]の項目は選択できません。

! ヒント

解像度が720p以上に設定されている際は、[4:3レターボックス]と、[4:3パンスキャン]のオプションを選択できません。

3

設定する

解像度

HDMI の映像信号の出力解像度を設定します。解像度設定についての詳細は、11ページをご参照ください。

[自動]

HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID）に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。

[480p]

480 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[720p]

720 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[1080i]

1080 本のインターレース（飛び越し走査）映像出力です。

[1080p]

1080 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24 Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像（1080p/24 Hz）をスムーズに表示するには、[24 Hz] を選択します。

! ヒント

- [24 Hz]を選択した場合、映像の切り替えの際に、画像の乱れが発生することがあります。このような場合は、[60 Hz]に変更してください。
- ご使用のテレビが1080p/24 Hzの出力に対応していなくても、本機で[1080ディスプレイモード]が[24 Hz]に設定されている場合は、出力する1080p/24 Hzの映像コンテンツのフレーム周波数は変わりません。

HDMIカラー設定

HDMI 出力 端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書をご参照ください。

[YCbCr]

HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB]

DVI ディスプレイ機器への接続時に選択します。

3D モード

ブルーレイ 3Dディスクを再生する際の3D映像の出力タイプを設定します。

[オフ]

通常のBD-ROMディスク再生のように2D映像を表示します。

[オン]

ブルーレイ3Dディスクの3D映像を表示します。

ホームメニューガイド

この機能を使用すると、ホームメニューのガイドバブルを表示したり、削除することができます。ガイドを表示する場合はこのオプションを[オン]に設定します。

[言語] メニュー

表示メニュー

[設定]メニューとオンスクリーンディスプレイの言語を選択します。

ディスクメニュー言語/ディスク音声言語/ディスク字幕言語

オーディオトラック（ディスクオーディオ）、字幕、そしてディスクメニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル]

ディスクが収録された時に使用された元の言語を参照します。

[その他]

決定(⦿)を 押して別の言語を選択します。61 ページ に記載された言語コードから表示したい言語の4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、決定(⦿)を押してください。

[オフ]（ディスクサブタイトルのみ）

字幕を消します。

ヒント

ディスクによっては、言語設定が作動しない場合があります。

[オーディオ] メニュー

ディスクによっては、さまざまなオーディオ出力を選択できるものもあります。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

ヒント

58 ページの「オーディオ出力仕様」も合わせてご参照ください。

デジタル出力

[PCM ステレオ]（HDMI、光）

本機のHDMI 出力端子、またはデジタル音声出力端子を、2チャンネルステレオのデジタルデコーダー機器に接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch] (HDMI 接続のみ)

本機のHDMI 出力端子をマルチチャンネルのデジタルデコーダー機器に接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード]（HDMI、光）

本機の HDMI 出力 端子または デジタル音声出力端子を、DTSデコーダー搭載機器に接続する場合に選択します。

[ビットストリーム]（HDMI、光）

本機の デジタル音声出力 端子またはHDMI出力 端子を、リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタル プラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

ヒント

- [デジタル出力]オプションが[PCMマルチチャンネル]設定されている際に、PCMマルチチャンネル情報が、EDIDでHDMIデバイスから検出されない場合には、音声はPCMステレオとして出力します。

サンプリング周波数 (デジタル音声出力)

[48 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが 192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての192 kHz、96 kHz の周波数を48 kHz に自動変換します。

[96 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択するとお持ちのシステムがデコードできるように、すべての192 kHz 周波数を96 kHz に自動変換します。

[192 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

お持ちのAV レシーバー、またはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様かをご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

この機能によって、クリアな音声を損なうことなく、低音量で動画をお楽しみいただけます。

[オフ]

この機能がオフになります。

[オン]

ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、またはドルビーTrueHDのダイナミックレンジが圧縮されます。

[オート]

ドルビーTrueHDオーディオ出力のダイナミックレンジが自動的に指定されます。また、ドルビーデジタルとルビーデジタルプラスのダイナミックレンジは、[オン]モードの場合と同様に選択されます。

> **ヒント**
>
> DRCの設定は、ディスクが挿入されていないか、または装置が完全に停止モードになっていない時のみ変更することができます。

DTS Neo:6

プレーヤーをHDMI接続によってマルチチャンネルのオーディオレシーバーに接続している場合には、この機能を設定すると、2チャンネルのオーディオソースをマルチチャンネルサラウンドサウンドでお楽しみいただけます。

[オフ]

フロントスピーカーからのステレオサウンドで出力します。

[ミュージック]

音楽鑑賞に最適化されたマルチチャンネルサウンドで出力します。

[シネマ]

映画鑑賞に最適化されたマルチチャンネルサウンドで出力します。

> **ヒント**
>
> - この機能は、オンラインサービスでは利用できません。
> - 48 kHz未満のサンプリング周波数を持ったオーディオソースのみ、この機能を利用可能です。
> - この機能は、[デジタル出力]オプションが[PCMマルチチャンネル]に設定されている場合のみ使用できます。

[ロック] メニュー

[ロック]設定は、ブルーレイディスクおよびDVDの再生の場合のみ有効です。

[ロック] 設定の機能を変更するには、お客様があらかじめ設定した 4桁の暗証番号を入力します。パスワードを入力していない場合は、最初に設定します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから、決定(⦿) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワード

新しいパスワードを作成します。

[なし]

4 桁のパスワードを 2 回入力してから,
決定(⦿)を押して 新しいパスワードを作成します。

[変更]

設定されているパスワードを入力して
決定(⦿)を押します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから 決定(⦿) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1. 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2. [設定] メニューから [パスワード] の項目を選択します。
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

ヒント

決定(⦿)を押す前に間違えた場合は、クリアを押して正しいパスワードを入力します。

DVD視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されている DVD の再生をブロックします。(すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません)。

[視聴制限 1-8]

視聴制限1（1）は、ほとんどが制限され、制限（8）は最小限の制限を備えています。

[ロック解除]

[ロック解除] を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

ブルーレイディスク視聴制限レベル

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255]

すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254]

BD-ROM に記録された年齢制限によって
BD-ROM の再生を禁止します。

ヒント

[Blu-rayディスクレート]は、高級レートコントロールが設定されているブルーレイディスクにのみ適用されます。

エリアコード

60ページのリストに合わせて、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準のエリアコードを入力してください。

[その他] メニュー

DivX® VOD

DIVX ビデオについて: DivX® は Rovi Corporation の子会社であるDivX LLCのデジタルビデオ圧縮技術です。本機はDivX ビデオ再生用のDivX Certified® 製品です。DivX 形式のビデオにを変換するソフトウェアツールについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：購入したDivXビデオオンデマンド (VOD) の内容を再生するための登録が必要です。登録コードを取得するには、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションをご参照ください。登録方法の詳細については、vod.divx.comにアクセスしてください。

[登録]	本機の登録コードを表示します。
[登録削除]	本機を譲渡または破棄するときに、コードを無効にします。

! ヒント

本機の登録コードでDivX（R）VODからダウンロードされたすべての動画は、本機で再生することができます。

クイックスタート

この機能を[オン]にすると、本機の電源をオフにしたときに電源の待機状態を維持します。次回に本機の電源を入れた際の立ち上がり時間を短くすることができます。

! ヒント

- 本機の電源ケーブルを接続し直したり、停電や初期化などのため本機の電源が再起動される場合は、クイックスタートは行われません。
- [クイックスタート]機能をオンにする場合、常に電源の待機状態を維持するため、消費電力量が増えることがあります。あらかじめご留意ください。

オートパワーオフ

本機でのコンテンツの再生が停止してから約5分が経過すると、スクリーンセーバーが表示されます。オートパワーオフを「オン」にすると、スクリーンセーバーが表示されてから20分後に自動的に電源が切れます。オートパワーオフをオフにすると、再び操作を始めるまでスクリーンセーバーが表示され続けます。

初期化

[初期設定]

本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

[BD-LIVEストレージ消去]

接続したUSBストレージのBD-Live コンテンツを初期化します。

ヒント

初期化を行うと、すべてのユーザー設定がリセットされます。

ソフトウェア

[情報]

ソフトウェアの最新バージョンを表示します。

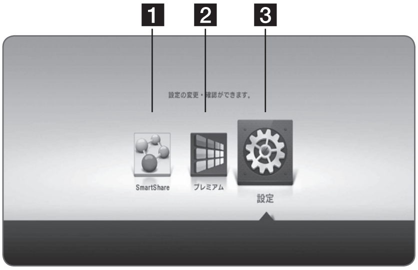
[更新]

本機をネットワークに接続しておくことで、更新できるソフトウェアがあった場合、自動的にアップデートを行うことができます。（53ページ）

ホームメニューを使用する

[ホーム]メニュー

ホーム (⌂)を押すと、ホームメニューが表示されます。Λ/V/</>を使用してカテゴリーを選択し、決定(⦿)を押します。

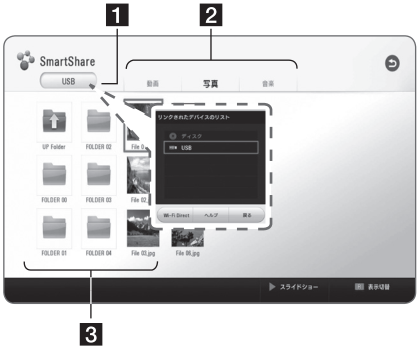


1	**[Smart Share] -** スマートシェアメニューを表示します。
2	**[プレミアム] -** プレミアムホームスクリーンを表示します。(48ページ)
3	**[設定] -** システム設定を調整します。

SmartShare™（スマートシェア）

ディスクやUSBデバイス、またはホームネットワーク（DLNA）で接続されたデバイスの中に保存された動画、写真、音楽ファイルを本機で再生することができます。

1. ホーム (⌂) を押してホームメニューを表示します。
2. [Smart Share] を選択して決定(⦿)を押します。



1	接続されている全ての機器を表示します。
2	動画、写真、音楽などのコンテンツを表示します。
3	接続されている機器内のファイル、またはフォルダーを表示します。

ディスクやファイルを再生する

ディスクの再生

BD **DVD** **AVCHD** **ACD**

1. ≜ **(開/閉)**を押し、ディスクトレーにディスクを乗せます。
2. ≜ **(開/閉)**を押してディスクトレイを閉じます。

   ほとんどのオーディオCD、BD-ROM、およびDVD-ROMディスクの再生は自動的に始まります。
3. ホーム (⌂)を押して[Smart Share]を選択します。
4. ディスクのアイコンを選択します。

! ヒント

- 本機で対応しているさまざまな再生機能は、必ずしも全てのファイルやメディアで利用できるものではありません。あらゆる要因によってご使用いただけない機能もあります。
- ブルーレイタイトルによっては、コンテンツ製作者が提供する追加のコンテンツをダウンロードするために、USBデバイスなどの接続が必要な場合があります。
- ファイナライズされていないVRフォーマットのDVDディスクは、本機では再生できない場合があります。
- 本機は、CPRM方式のVRフォーマットで作成されたDVD-VRディスクの再生には対応していません。

ブルーレイ3Dディスクの再生

BD

本機では、ブルーレイ3Dディスクの3D映像をお楽しみいただけます。

準備

3D映像を再生するには、次の項目を事前にご確認ください。

- ご使用のテレビが3D映像の再生に対応していて、HDMI入力端子を備えていることをご確認ください。
- 3D映像をご覧いただくには、3Dメガネが必要です。
- お持ちのBD-ROMタイトルがブルーレイ3Dディスクであることをご確認ください。
- 本機とテレビをHDMIケーブル（High Speed HDMIケーブル）で接続します。

1. ホーム (⌂)を押して、[設定]メニューの[3Dモード] オプションを [オン]（22 ページ）に設定します。
2. ≜ **(開/閉)**を押し、ディスクトレーにディスクを乗せます。
3. ≜ **(開/閉)**を押してディスクトレイを閉じます。

   自動的に再生が始まります。
4. 3D機能の操作や、3D映像効果の調整を行うには、ご使用のテレビ側の取扱説明書をご参照ください。

3D映像視聴時のご注意

3Dコンテンツを視聴するときは、1時間ごとに5～15分の休憩をとってください。長時間3Dコンテンツを見続けると、頭痛やめまい、疲労、眼精疲労の原因となります。

- 睡眠不足や過労、飲酒によって疲れている場合は、3Dコンテンツを視聴しないでください。
- 次のような症状がある場合は、3Dコンテンツの視聴／利用を中止してください。
  - 頭痛、眼球の痛み、めまい、吐き気、動悸、不明瞭感、不快感、二重に見える、視聴不良、疲れ

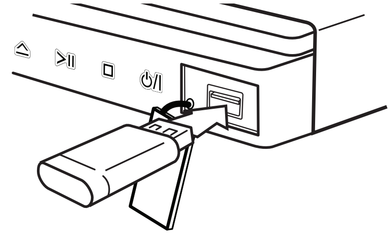
4
操作する

ディスク/USB機器での再生

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

ディスクやUSBデバイスに保存された動画、写真、音楽などのファイルを再生することができます。

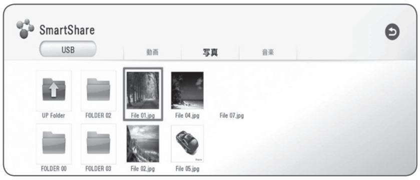
1. データディスクをトレイに挿入するか、USB 機器を接続します。



USB機器をHOMEメニューから接続すると、本機はUSBストレージ機器に記録された音楽ファイルを自動的に再生します。USBストレージ機器にさまざまな種類のファイルが記録されている場合は、ファイルの種類を選択するメニューが表示されます。

USBストレージ機器に保存されたコンテンツの数によっては、ファイルの読み込みに時間がかかることがあります。読み込みを中止するには、［取り消し］を選択し、決定(⦿) を押してください。

2. ホーム (⌂)を押します。
3. [Smart Share] を選択して決定(⦿)を押します。



4. カテゴリーに接続している機器を選択します。
5. [動画]、[写真]、または[写真]から選択してください。
6. Λ / V / < / >ボタンでファイルを選択し、▶ (再生) または 決定(⦿)を押してファイルを再生してください。

USB機器に関する注意

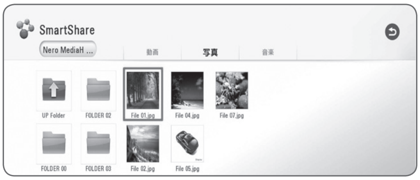
- 本機は、FAT32およびNTFSフォーマットのUSBフラッシュドライブ・外付けハードディスクからのファイル再生に対応しています。ただし、BD-Liveについては、FAT32フォーマットのみに対応します。
- 本機はUSB機器で最大4つのパーティションまでサポートしています。
- 接続したデバイスの操作（ファイル再生など）中にUSB機器を引き抜かないでください。
- 本機は、接続の際に専用ソフトウェアのインストールを必要とするUSBデバイスには対応していません。
- 本機は、USB1.1およびUSB2.0までのUSBデバイスに対応しています。
- USBに保存されたデータは、定期的にバックアップすることをおすすめします。
- USB 延長ケーブルを使用する場合、USBデバイスおよびUSBハブ、USBマルチリーダー機器などが正常に認識できない場合があります。
- USB機器の種類により、本機では作動しない場合があります。
- デジタルカメラや携帯電話などの接続にはサポートしていません。
- 本機のUSB端子はPCには接続できません。本機はストレージ機器としては使用できません。

ネットワークサーバーでの再生

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機ではホームネットワーク上のDLNAサーバー機器内にある動画、音声、画像ファイルを再生できます。

1. ネットワークの接続と設定を確認します。（14ページ）。
2. ホーム（⌂)を押します。
3. [Smart Share]を選択して決定(⦿)を押してください。



4. カテゴリーからDLNAメディアサーバーを選択してください。
5. [動画]、[写真]、または[写真]から選択してください。
6. **Λ / V / < / >**ボタンでファイルを選択し、**▶ (再生)** または決定(⦿)を押してファイルを再生してください。

ヒント

- 本機のDLNA仕様については、55ページをご参照ください。
- 本機で再生できない形式のファイルは、サムネイルのみで表示します。
- 動画ファイルと字幕ファイルは、それぞれのファイル名が同じであり、かつ同じフォルダー内に格納されている必要があります。
- ホームネットワークおよびDLNAサーバー機器の状態により、ファイルの再生品質に影響がある場合があります。
- お使いのPCをDLNAサーバーとして設定するには、本機に付属のNero MediaHome4ソフトウェアをインストールしてください。（32ページ）

ホームネットワークサーバーを利用する

DLNA（Digital Living Network Alliance）認定サーバー機器に保存されたコンテンツを、テレビで再生することができます。

お使いのPCをDLNAサーバーとして設定するには、本機に付属の「Nero MediaHome 4 Essentials」ソフトウェアをPCにインストールする必要があります。

Nero MediaHome 4 Essentialsのインストール

Windows の場合

PCを起動し、CD - ROMドライブに付属のインストールCDを挿入します。インストール ウィザードのご案内にしたがって、Nero MediaHome 4 Essentialsをインストールしてください。

1. すべてのMicrosoft Windowsプログラムを閉じます。
2. 本機に付属のインストールCDを、PCのCD - ROMドライブに挿入します。
3. [Nero MediaHome 4 Essentials]をクリックします。
4. [Run]をクリックしてインストールを開始します。
5. [Nero MediaHome 4 Essentials]をクリックします。
   インストールの準備が行われ、インストール ウィザードが表示されます。
6. [Next]ボタンをクリックすると、シリアル番号入力画面が表示されます。
   [Next]をクリックして、次のステップに進みます。
7. 利用規約をお読みになり、承諾する場合は、[I accept the License Conditions] チェックボックスをクリックして、[Next] をクリックします。
8. [Typical] ⇒ [Next] の順にクリックして、インストールを正式に開始します。
9. [Exit]ボタンをクリックして、インストールを終了します。

Mac OS X の場合

1. お使いのPCを起動し、PCのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMディスクを挿入します。
2. CD-ROMドライブを開いて、「MediaHome_4_Essentials_MAC」フォルダーを選択します。
3. 「NeroMediaHome.dmg」画像ファイルをダブルクリックします。Nero MediaHomeのウィンドウが開きます。
4. Nero MeriaHomeのウィンドウからNero MediaHomeのアイコンをドラッグし、アプリケーションフォルダーまたは任意のフォルダーに移動します。
5. Nero MediaHomeのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。

共有ファイルとフォルダー

本機で再生するには、お使いのPCに保存されている動画、写真、音楽のファイルやフォルダーを、DLNAネットワーク上に共有する必要があります。

次の手順に沿って、Nero MediaHome 4 Essentialsソフトウェアを使ってPCでの設定を行います。

1. 「Nero MediaHome 4Essentials」アイコンをダブルクリックします。
2. 左側の [Network] アイコンをクリックし、[Network name] フィールドにネットワーク名を設定します。入力したネットワーク名がプレーヤー（本機）側で表示されるようになります。
3. 左側の [Shares] アイコンをクリックします。
4. [Shares] 画面の [Local Folders] をクリックします。
5. [Add] アイコンをクリックして、[BrowseFolder]ウィンドウを開きます。
6. 共有したいファイルを含むフォルダーを選択します。選択したフォルダーが共有フォルダーの一覧に追加されます。
7. [Start Server] アイコンをクリックして、サーバーを開始します。

ヒント

- 共有フォルダーまたはファイルが本機に表示されない場合は、[ローカルフォルダ]タブでフォルダーをクリックし、[再スキャンフォルダ]の [より多く]ボタンをクリックします。
- 詳しい情報およびソフトウェアツールについては、www.nero.comをご覧ください。

Nero MediaHome 4 Essentialsについて

Nero MediaHome 4 Essentialsは、PCをDLNAサーバーとして設定するためのソフトウェアです。DLNAサーバーに設定すると、PCに保存された動画、写真、音楽ファイルなどを本機と共有することができます。

ヒント

- 本機に付属された Nero MediaHome4 EssentialsのインストールCDは、PC向けに設計されており、本機やPC以外の製品では使用できません。
- このインストールCDは、本機との設定のためにカスタマイズされたソフトウェアであり、次の機能はご利用いただけません：トランスコーディング、リモートUI、テレビのコントロール、インターネットサービス、AppleのiTunes。
- 付属のNero MediaHome4 Essentialsのソフトウェアはwww.lg.com/jp でダウンロードすることもできます。
- 本書では、Nero MediaHome4 Essentialsソフトウェアの英語版を基準に説明しています。

システム環境

Windows

- Windows® XP（SP2以上）、Windows Vista®（Service Pack不要）、Windows® 7 (Service Pack不要)、Windows® XP MediaCenter Edition2005 (Service Pack 2以上)、Windows Server® 2003
- Windows Vista® 64ビット版 (アプリケーションは32ビット モードで稼動)
- Windows 7® 64ビット版 (アプリケーションは32ビット モードで稼動)
- ハードディスク空き容量Nero MediaHomeスタンドアロンの標準インストールでは、200 MBのハードディスク空き容量
- 1.2 GHz Intel(R) Pentium(R) III または AMD Sempron 2200+プロセッサー
- メモリ256 MB RAM
- 最低32 MBのビデオ メモリーを搭載したグラフィックス カードは、800 x 600ピクセル以上の解像度、16ビットカラー設定
- Windows® Internet Explorer® 6.0 以上
- DirectX® 9.0c revision 30 (2006年8月)以上
- ネットワーク環境100 Mb Ethernet、WLAN

Macintosh

- Mac OS X 10.5 (Leopard) または10.6 (Snow Leopard)
- Intel x86プロセッサを搭載したMacintosh PC
- ハードディスク空き容量:Nero MediaHome スタンドアロンの標準インストールでは、200 MBのハードディスク空き容量
- メモリ256 MB RAM

4

操作する

リモコンで再生を操作する

動画と音楽を再生する

再生を停止するには

再生中に ■ (停止) を押します。

再生を一時停止するには

再生中に ‖ (一時停止) を押します。▶ (再生) を押すと、レジューム再生を開始します。

フレームバイフレームを再生するには（動画）

映画の再生中に ‖ (一時停止) を押します。
‖ (一時停止) を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。

早送り/早戻しをするには

再生中に ◀◀ または ▶▶ を押すと、早送り/早戻し再生になります。

◀◀ または ▶▶ を繰り返し押すと、早送り/早戻しの再生速度を変えることができます。

スローモーションで再生するには

再生の一時停止中に、▶▶ を繰り返し押してスローモーションのスピードを変えて再生します。

チャプター/トラック/ファイルをスキップするには

再生中に |◀◀ または ▶▶| を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。

|◀◀ を素早く2回押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

写真を再生する

スライド ショーを表示するには

スライド ショーを開始するには、▶ (再生) を押します。

スライド ショーを停止するには

スライド ショーの途中で ■ (停止) を押します。

スライド ショーを一時停止するには

スライド ショーの途中で ‖ (一時停止) を押します。スライド ショーを再開するには、▶ (再生) を押します。

次/前の写真へスキップするには

全画面で写真を表示しているときに、< または > を押して、前または次の写真に移動します。

ディスクメニューを使用する

BD **DVD** **AVCHD**

ディスクメニューを表示するには

ディスクにより、読み込みの直後にディスクメニューが最初に表示されることがあります。再生中にディスク メニューを表示するには、ディスクメニュー を押します。

Λ / V / < / >ボタンを使用 して、メニュー項目を移動します。

ポップアップメニューを表示するには

一部のBD - ROMディスクには、再生中に表示できるポップアップメニューが含まれています。

再生中に タイトル/ポップアップ を押すと、Λ / V / < / > ボタンを使用して、メニュー項目を移動できます。

4
操作する

レジューム再生

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE** **ACD** **MUSIC**

ディスクによって、本機は■(停止)ボタンを押した位置を一時記憶します。「II■(レジューム停止)」が画面にすぐに表示されたら、▶(再生)を押して停止したシーンから再生を開始することができます。■(停止)を2度押したり、ディスクを取り出したりすると、「■(完全な停止)」が画面に表示されます。本機が記憶した停止位置を解除します。

ヒント

- レジュームした位置は、⏻(電源)、⏏(開/閉)などのボタンを押すと解除される場合があります。
- BD-J を使った BD ビデオ ディスクでは、レジューム再生機能は動作しません。
- BD-ROM のインタラクティブ タイトルの再生中に ■(停止) を一度押すと、本機は完全な停止モードになります。

ラストシーンメモリー

BD **DVD**

本機は、最後に再生したディスクの最後に再生を止めたシーンをメモリーに一時記憶します。最後に再生を止めたシーンは、本機からディスクを取り出したり、本機の電源を切っても、そのまま記憶されます。次回にそのディスクを再生するときは、前回記憶した位置から再生を始めます。

ヒント

- この機能は、最後に再生したディスクのみのラストシーンを記憶します。別のディスクを再生すると、以前のディスクの記憶情報はリセットされます。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。
- BD-Jを使用したBD-Videoディスクでは、ラストシーンメモリー機能が作動しません。
- メモリーされたシーンの再生を開始する前に本機の電源を切ると、記憶した情報はリセットされます。

画面で再生を操作する

コンテンツに関するさまざまな情報や設定を表示し、調整することができます。

動画の再生

BD DVD AVCHD MOVIE

動画の再生中に再生をコントロールし、オプションを設定することができます。

再生中に **かんたんメニュー**(□)を押します。



1 進行状況バー - 現在位置と総再生時間を表示します。

2 [ディスクメニュー言語] - ディスク上のメニューにアクセスします。

3 [タイトル] - DVDのタイトルメニューやBD-ROMのポップアップメニューがある場合は表示します。

4 [オプション] - 再生情報を表示します。

5 [Music ID] - ネットワークに接続すると、現在再生中の動画で流れている音楽の情報を表示します。

6 [リピート] - 選択したセクションやシーケンスを繰り返して再生します。(38ページ)

7 [3D] - 3D設定を調整します。(42ページ)

画面上のコンテンツ情報の表示

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に **かんたんメニュー**(□)を押します。
2. </>を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。



1 タイトル – 現在再生中のタイトル番号/総タイトル数

2 チャプター – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数

3 時間 – 再生経過時間/総再生時間

4 オーディオ – 選択した音声言語やチャンネル

5 字幕 – 選択した字幕

6 アングル – 選択したアングル数/総アングル数

7 TV縦横比 – 選択したTVの画面比率

8 画像モード – 選択した画像モード

9 **映画情報** – このオプションを選択し、グレースノートメディアデータベース（BD-ROM/DVDのみ）からムービー情報を表示するには 決定（⦿）を押します。

ヒント

- 一定時間ボタンの操作がなかった場合、メニュー画面は非表示になります。
- ディスクの種類によって、タイトル数が選択できない場合があります。
- 利用可能な項目は、ディスクやタイトルによって異なる場合があります。
- 対話式のブルーレイディスクが再生されている場合は、設定情報が画面に表示されますが、変更はできません。
- [映画情報]オプションを使用するには、グレースノートメディアデータベースにアクセスするために、本機がブロードバンドインターネットに接続されていなければなりません。
- LGは、グレースノート技術のライセンス所有者です。グレースノートメディアデータベースからの情報について、当社は一切の責任を負いかねます。

写真の再生

写真の再生中に写真をコントロールし、オプションを設定します。

写真の表示中に、 **かんたんメニュー**(□)を押してください。



1 **[スライドショー] -** スライドショーを開始、または停止します。

2 **[写真] -** スライドショーのBGMを選択します。

3 **[オプション] -** スライドショーのオプションを表示します。

4 **[回転] -** 画像を時計回りに回転します。

5 **[ズーム] -** [ズーム]メニューを表示します。

スライドショーのオプションの設定

写真の再生中に、次の設定を行うことができます。

1. 写真の表示中に、 **かんたんメニュー**(□)を押してください。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⊙)を押します。



1 **[スピード] - </>**を使用してスライドショー内の写真間の遅延速度を選択します。

2 **[効果] - </>**を使用してスライドショー内の写真間のトランジションエフェクトを選択します。

3 **[音楽を選択] -** スライドショーのBGMを選択します。(ページ 42)

さらに楽しむ

リピート再生

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MUSIC** **MOVIE**

ブルーレイディスク / DVD / 動画ファイル

再生中に**リピート(⮂)**を押して、リピートモードを選択します。

A-B – 指定した区間が繰り返して再生されます。

チャプター – 現在再生中のチャプターが繰り返して再生されます。

タイトル – 現在再生中のタイトルが繰り返して再生されます。

オール – すべてのタイトルやファイルが繰り返して再生されます。

Off – 通常再生に戻ります。

通常の再生に戻るには、クリアを押してください。

オーディオ CD/オーディオファイル

再生中にリピート**リピート(⮂)**を繰り返して押し、希望するリピートモードを選択します。

A-B – 指定した区間が繰り返して再生されます。（オーディオCDのみ）

1 トラック– 現在再生中のトラックが繰り返して再生されます。

A オール – すべてのトラックやファイルが繰り返して再生されます。

A ⤨ オール – すべてのトラックやファイルがランダムに繰り返して再生されます。

⤨ – トラックやファイルがランダムに再生されます。

通常の再生に戻るには、クリアを押してください。

! ヒント

ディスクによっては、この機能をご利用いただけない場合があります。

区間指定リピート

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MOVIE**

本機は指定した区間を繰り返して再生することができます。

1. 再生中に**リピート(⮂)** を押し、[A-B] を選択して繰り返して再生したい区間の開始位置で決定(⦿)を押してください。
2. 区間の終了地点で決定(⦿)を押します。指定した区間が繰り返して再生されます。
3. 通常の再生に戻るには、クリアを押してください。

! ヒント

- 3秒未満の区間を指定することはできません。
- ディスクによっては、この機能をご利用いただけない場合があります。

時間指定再生

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

1. 再生中に **かんたんメニュー(□)**を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. [時刻]オプションを選択して、再生を開始する時刻、分、秒を左から右に選択します。

   たとえば、ディスクの1時間10分20秒のシーンから再生を始める場合は、「11020」と入力します。

   </>を押すと、再生を前方、または後方に60秒スキップできます。
4. 選択した時間から再生を開始するには決定(⦿)を押します。

! ヒント

- ディスク、またはファイルの種類によっては、この機能をご利用いただけない場合があります。
- DLNAサーバーから共有されたファイルの場合、この機能をご利用いただけない場合があります。

字幕言語を選択する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. **Λ/V**を使用して[字幕言語]オプションを選択します。
4. **</>**を使用してご希望の字幕言語を選択します。

   決定(⦿)を押すと、さまざまな字幕オプションを設定することができます。
5. **戻る** (**⮌**)を押し、画面表示を終了します。

! ヒント

ディスクによっては、ディスクメニューからの操作でのみ字幕を変更できるものもあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューからお好みの字幕を選択してください。

音声を切り換える

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. [音声]オプションを選択するにはW/Sを使用します。
4. **</>**ボタンで、お好みの音声言語やオーディオトラックを選択します。

! ヒント

- ディスクによっては、ディスクメニューからの操作でのみ音声が切り換えられるものもあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切なお好みの選んでください。
- サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。
- BD-ROMディスクに収録されている、マルチオーディオフォーマット(5.1CHまたは7.1CH)は、オンスクリーンディスプレイの[MultiCH]で表示されます。

別アングルの映像を見る

BD **DVD**

複数のカメラアングルで収録されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1. 再生中に **かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. **Λ/V**を使用して[アングル]オプションを選択します。
4. **</>**を使用し、アングルを選択します。
5. **戻る** (**⮌**)を押し、画面表示を終了します。

テレビの縦横比を変更する

BD **AVCHD** **MOVIE**

再生中にテレビの画面比をを変更することができます。

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. **Λ/V**を使用して[縦横比]オプションを選択します。
4. **</>**を使用し、ご希望のオプションを選択します。
5. **戻る** (**⮌**)を押し、画面表示を終了します。

! ヒント

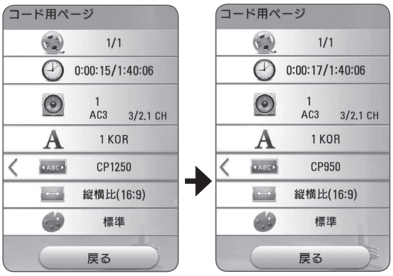
コンテンツの再生中に変更した画面比は、そのコンテンツにのみ適用されます。

字幕コードページを変更する

MOVIE

字幕の文字が正しく表示されない場合は、次の手順で字幕コードページの設定を調整します。

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. **∧/∨**を使用して[コード用ページ]オプションを選択します。
4. **</>**を使用し、ご希望のコードオプションを選択します。



5. **戻る** (⮌)を押し、画面表示を終了します。

画像モードを変更する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

再生中に [ピクチャーモード] オプションを 変更することができます。

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. **∧/∨**を使用して[ピクチャーモード] オプション を選択します。
4. **</>**を使用し、オプションを設定します。
5. **戻る** (⮌)を押し、画面表示を終了します。

[ユーザー設定]オプションを確認する

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. **</>**を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
4. **∧/∨**を使用して[ピクチャーモード] オプション を選択します。
5. **</>**を使用して[ユーザー設定]オプションを選択し、決定(⦿)を押します。



6. **∧/∨/</>** を使用して[ピクチャーモード] を選択し、お好みの映像設定に調整します。

   [初期設定]オプションを選択すると、すべての映像調整値をリセットします。
7. **∧/∨/</>**を使用して[戻る] オプションを選択し、決定(⦿)を押して設定を終了します。

コンテンツ情報の確認

MOVIE

本機でコンテンツ情報を表示することができます。

1. **∧/∨/</>**を使用してファイルを選択します。
2. 情報メニュー**かんたんメニュー**(□)を押してオプションメニューを表示します。

   ファイルの情報が画面に表示されます。

動画の再生中に、タイトル/ポップアップを押すと、ファイルの情報を確認することができます。

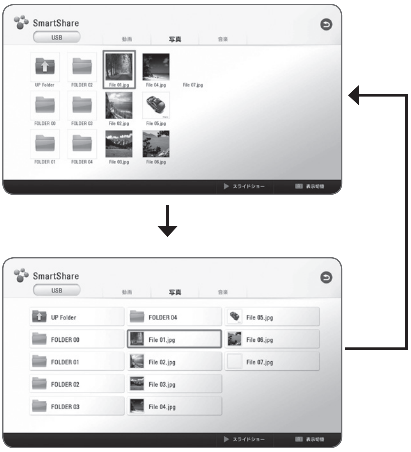
ヒント

画面に表示されるファイル情報は、上映時間、ファイル容量、コーデック情報などです。表示される時間や容量など情報は、実際のファイル仕様と比べて若干のずれがある場合もあります。

コンテンツリストの表示を切り換える

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

赤(R)ボタンを押すごとに、[SmartShare]メニューのコンテンツリストの表示方式を切り換えることができます。



字幕ファイルを選択する

MOVIE

動画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、動画ファイルを再生する前に[動画]メニューから字幕ファイルを選択します。

1. [動画]メニューで、再生したい字幕ファイルを選択するにはΛ/V/</>を使用してください。
2. 決定(⦿)を押します。



字幕ファイルの選択を解除するには、再度決定(⦿)を押してください。動画ファイルを再生すると、選択した字幕ファイルが表示されます。

ヒント

- 動画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、動画の再生中に■(停止) ボタンを押すと、字幕ファイル の設定内容もリセットされます。ファイルの再生を再開する場合は、字幕ファイルをもう一度設定する必要があります。
- ホームネットワークサーバー上にあるファイルを再生する場合は、この機能をご利用いただけません。

スライドショー再生中の音楽を再生する

PHOTO

写真をスライドショーなどで表示しながら、音楽ファイルを再生することができます。

1. 写真の再生中に、かんたんメニュー(□)を押して、オプションメニューを表示します。
2. </>を使用して[オプション] を選択し、決定(⦿)を押します。
3. ∧/∨を使用して[音楽を選択]オプションを選択し、決定(⦿)を押して[音楽を選択]メニューを表示します。
4. ∧/∨を使用して機器を選択し、決定(⦿)を押します。

   写真ファイルが保存された機器の種類により、選択できる機器が制限されます。

写真ファイルが	再生可能な音楽ファイルの位置
ディスクやUSB機器にある場合	ディスク、USB
DLNAサーバー機器内にある場合	DLNAサーバー

5. ∧/∨を使用して再生したいファイルまたはフォルダーを選択します。



   □を選択して決定(⦿) を押し、上位ディレクトリを表示します。

> **ヒント**
>
> 再生する音楽ファイルがホームネットワークサーバー上のフォルダー内にある場合は、音楽ファイルをフォルダーの外に移動してください。

6. >を使用して[OK]を選択し、決定(⦿)を押して音楽の選択を完了します。

3Dの設定をする

MOVIE

本機では、3Dの映像ファイルやディスクを再生することができます。

1. 再生中に**かんたんメニュー**(□)を押します。
2. </>を用いて[3D]を選択し、決定(⦿)を押します。
3. ∧/∨/</> を使用してご希望のオプションを選択して ください。

ネットワーク機能を楽しむ

Wi-Fi Direct™で接続する

Wi-Fi Direct™ 認証デバイスへの接続

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機は、Wi-Fi Direct™に対応しています。同様にWi-Fi Direct™に対応するデバイスに保存された動画、音楽、写真ファイルなどを、本機を経由して再生することができます。Wi-Fi Direct™に対応する機器同士では、アクセスポイントや無線LANルーターなどのネットワーク機器を設定しなくても直接接続できます。

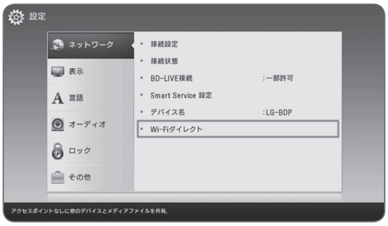
Wi-Fi Direct™認証機器の設定

本機に接続するWi-Fi Direct™対応機器側の設定は、お持ちの機器により操作方法が異なります。接続する機器側の取扱説明書なども合わせてご参照ください。

1. 接続する機器（Wi-Fi Direct™対応機器）の電源を入れ、Wi-Fi Direct™機能をオンにします。
2. 接続する機器側のDLNA接続アプリケーションを起動します。

本機での設定

3. 本機の [設定]メニューの[ネットワーク]オプションを選択し、決定(⦿)を押します。
4. [Wi-Fiダイレクト]を選択し、決定(⦿)を押します。



5. ∧/∨と決定(⦿)ボタンでWi-Fi Direct™を選択してください。



範囲内の接続できるWi-Fi Direct™対応機器を検索します。

もう一度検索を行う場合は、[リストの更新]を選択して決定(⦿)を押してください。

Wi-Fi Direct™で共有したいファイルやフォルダーは、接続する機器側からDLNAサーバー上にアップロードしておく必要があります。

6. ∧/∨/</>を使用して[動画]、[写真]または[音楽]を選択し、決定(⦿)を押してください。



7. ∧/∨/</>ボタンでファイルを選択し、決定(⦿)を押してファイルを再生します。

ヒント

- Wi-Fi Direct™は対応機器間で直接通信を行うため、接続する機器は本機に近い位置に置くことをおすすめします。
- 一度に複数の機器を同時に接続することはできません。
- Wi-Fi Direct™で接続している状態で、別の無線ネットワークに同時に接続する場合は、Wi-Fi Directの接続が自動的にオフになります。
- 接続する機器と本機がそれぞれ異なるネットワーク に接続されている場合は、Wi-Fi Direct™の接続が利用できない場合があります。
- Wi-Fi Direct™で接続するデバイス側の設定で、Wi-Fi Directがオンになっていることをご確認ください。
- Wi-Fi Directの接続中には、PINネットワーク接続はご利用いただけません。
- Wi-Fi Directの接続時に、本機はグループオーナーとして設定されます。グループオーナーとして動作する別のWi-Fi Directデバイスを本機に接続することはできません。

Miracast™で接続する

本機はMiracast™に対応しています。同様にMiracast™に対応するデバイスに保存された動画、音楽、写真ファイルなどを、本機を経由してテレビ画面などに表示（ミラーリング）することができます。

Miracast™認証機器の設定

本機に接続するMiracast™対応機器側の設定は、お持ちの機器により操作方法が異なります。接続する機器側の取扱説明書なども合わせてご参照ください。

1. 接続するMiracast対応機器の電源を入れ、Miracast機能をオンにします。

本機での設定

2. ホーム (⌂)を押してください。
3. [Miracast]を選択し、決定(⦿)を押します。



4. 範囲内の接続できるMiracast™対応機器を検索します。リストが表示されたら、Λ/Vを使用して、接続するMiracast機器を選択し、決定(⦿)を押します。

   Miracastでのミラーリング表示が自動的に始まります。

   もう一度検索を行う場合は、[リストの更新]を選択し、決定(⦿)を押します。

> **ヒント**
>
> - Miracast™は対応機器間で直接通信を行うため、接続する機器は本機に近い位置に置くことをおすすめします。
> - 一度に複数の機器を同時に接続することはできません。
> - Miracastでのミラーリング表示中には、無線ネットワークやWi-Fi Directでの接続は制限されます。
> - 接続するデバイス側の設定で、Miracastがオンになっていることをご確認ください。
> - ネットワークの状態により、Miracastでのミラーリング表示が不安定になることもあります。
> - Miracastでのミラーリング画面が正常なサイズで表示されない場合は、テレビ側のディスプレイ設定を調整します。

BD-Live™ を楽しむ

BD

再生するブルーレイタイトルがBD-Live™に対応する場合は、本機をネットワークに接続することで、コンテンツ製作者が提供する追加のオンラインコンテンツをお楽しみいただけます。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。（14ページ）
2. 本機のUSB端子に、BD-Liveコンテンツをダウンロードするための USBストレージデバイスを接続します。
3. ホーム (⌂)を押し、[設定]メニュー (ページ 20)から[BD-LIVE接続]を設定します。

   [BD-LIVE接続] の項目が[一部許可]に設定されていると、ディスクによってはBD-Live 機能が動作しない場合があります。
4. BD-Live 機能のある BD-ROM ディスクを挿入します。

   ディスクによって動作が異なる場合がありますので、ディスク側の取扱説明書なども合わせてご参照ください。

> **ヒント**
>
> コンテンツをダウンロードしている最中やディスクトレイにブルーレイディスクが入っている場合は、接続されたUSB機器を取り外さないでください。USB機器のダウンロードが正常に完了されず、USBに保存されていたデータやダウンロードしたBD-Liveコンテンツが正常に再生できなくなる場合があります。

> **ヒント**
>
> - BD-Live™コンテンツの中には、お住まいの国や地域によりご利用いただけないものもあります。これは、コンテンツ製作者により指定されているものです。
> - BD-Live™コンテンツの読み込みには、時間がかかる場合があります。
> - BD-Live™コンテンツをダウンロードするためのUSBデバイスは、FAT32形式で初期化されたものをご利用ください。

LG Tag Onを楽しむ

本機は、NFC（Near Field Communication）機能に対応しています。LG Tag Onは、NFC技術が適用されたLG独自の機能です。スマートフォンやタブレットを本機に付属のLG Tag Onステッカーの上にかざすだけで、「LG AV Remote」アプリを開くことができます。

LG Tag Onをお楽しみいただくには、NFC機能に対応したスマートフォンやタブレット機器、および本機に付属のLG Tag Onステッカーが必要です。

1. 本機に付属のLG Tag Onステッカーを、本機に近い位置に貼り付けます。

> **ヒント**
>
> Tag Onステッカーは、電子機器や、金属製のものなどには貼らないでください。

2. ステッカーの上に、お使いのスマートフォンやタブレット機器をかざします。
   - NFC機能に対応するスマートフォンやタブレット機器が必要です。Tag On機能のご使用の前に、あらかじめNFC機器側の設定メニューなどでNFCの使用をオンにしてください。
   - お使いのスマートフォンやタブレットの機種によって、Tag Onステッカーを認識する場所が異なる場合があります。
   - お使いのスマートフォンなどに「LG AV Remote」アプリがインストールされていない場合は、Tag Onステッカーをかざすことで「LG AV Remote」アプリのダウンロードページを表示します。
   - 「LG AV Remote」アプリがインストールされている場合は、Tag Onステッカーをかざすことでアプリを起動します。

> **ヒント**
>
> - Android 4.0以上で、NFC機能に対応するスマートフォンやタブレットなどが必要です。
> - お使いのスマートフォンなどのトップ画面がロックされている場合は、LG Tag Onステッカーを読み取りません。

LG AV Remoteで操作する

お使いのiOSまたはAndroid機器に「LG AV Remote」アプリをインストールして、本機を操作することができます。アプリを利用するには、本機とスマートデバイスが同じ無線ネットワークに接続されている必要があります。「LG AV Remote」は、「Apple iTunes」または「Google Android Market (Playストア)」で無料でダウンロードいただけます。

プライベートサウンドモード

LG TV Remoteアプリを経由して、テレビの音声をスマートフォンで再生します。スマートフォンにヘッドフォンなどを接続して、テレビの音声をヘッドフォンから楽しむことができます。

- プレミアムコンテンツの再生中には、プライベートサウンドモードはご利用いただけません。

グレースノートメディアデータベースからの情報を表示する

本機をネットワークに接続することで、グレースノートメディアデータベースに接続し、トラック名、アーティスト名、ジャンル名などのオンライン情報を取得することができます。

オーディオCD

オーディオCDを挿入すると本機は自動的に再生を開始し、グレースノートメディアデータベースからトラック名などのオンライン情報を取得します。

取得できる情報が見つからなかった場合は、音楽タイトルが画面に表示されません。

音楽ファイル

∧/∨/</>ボタンで音楽ファイルを選択し、かんたんメニュー(□)を押します。

本機はグレースノートメディアデータベースにアクセスし、音楽情報を検索します。

ブルーレイディスク/ DVD /ビデオファイル

1. 動画の再生中に、バックグラウンドに流れる音楽の情報を調べたい場合は、かんたんメニュー(□)を押します。
2. </>を使い[Music ID] を選択し、決定(⊙)を押します。

   本機はグレースノートメディアデータベースから音楽情報を検索します。

! ヒント

- グレースノートメディアデータベースの情報を取得するには、本機をネットワークに接続する必要があります。
- 音楽情報の取得には、時間がかかることがあります。
- お住まいの国や地域により、グレースノートメディアデータベースからの情報が正しく表示されない場合があります。
- この機能は、DLNAサーバー内のコンテンツおよびオンラインコンテンツには使用できません。
- LGは、グレースノート技術のライセンス所有者です。グレースノートメディアデータベースからの情報に対しては、一切の責任を負いかねます。
- お客様の個人的な目的のために作られたオーディオCDに関する情報はグレースノートメディアデータベースに含まれません。
- 本機能をご利用いただける音楽ファイル形式は、mp3, wma, m4a, wav です。

オーディオCDを録音する

オーディオCDの一部、または全てのトラックをUSB記憶装置に録音する事ができます。

1. USB 記憶装置を本機の USB端子に差し込みます。
2. 本機ににオーディオCDを挿入します。
   再生が自動的に開始されます。
3. リモコンの赤(R)ボタンを押して[CD 録音]を始めます。録音速度の目安については、下記の表をご参照ください。

	ディスクの停止中	ディスクの再生中
録音されるトラック	すべてのトラック	再生中のトラックのみ
録音速度	4倍速度	1倍速度

ヒント

- FAT32形式でフォーマットされたUSB機器のみをご使用ください。
- オーディオトラックは192kbpsのオーディオファイルとして録音されます。
- 録画できる時間は、USB機器によって異なります。
- 録音するUSB機器には、50MB以上の空き容量が必要です。
- 正常に録音するには、オーディオの合計時間が20秒以上である必要があります。
- 録音中は、本機の電源を切ったり、接続されたUSB機器を抜いたりしないでください。

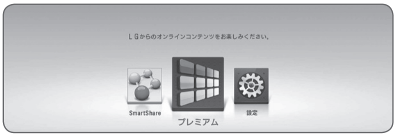
注意

本機の録音またはコピー機能は、個人および非営利目的のために提供されています。著作権で保護されているコンテンツを許可なく複製することは、著作権の侵害や不法行為が成立する場合があります。本機をそれらの目的で使用することは固く禁じられています。当社は、違法配信または営利目的でのコンテンツの不正使用について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

プレミアムコンテンツを利用する

本機をネットワークに接続することで、ビデオ・オン・デマンド（VOD）などのさまざまなプレミアムコンテンツをご利用いただけます。

1. 本機をネットワークに接続します。（14ページ）
2. ホーム (⌂) を押します。
3. </>を使用して[プレミアム]を選択し、決定(⦿)を押します。



4. ∧/∨/</>を使用してオンラインサービスを選択し、決定(⦿)を押します。

ヒント

- サービス内容は、ソフトウェアアップデートで変更される場合があります。
- インターネットのサービスによっては、利用登録が必要なサービスがあります。
- 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
- クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信頼できるか充分注意してください。

故障かな？と思ったら

一般

このようなときは	ここをお調べください
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているかをご確認ください。
ディスクの再生ができない。	• ディスクの種類、カラーシステム、リージョンコードを確認し、本機で再生可能なディスクであることをご確認ください。 • ディスクの再生面を下にして、ディスクトレイにきちんと置かれていることをご確認ください。 • ディスクがディスクトレイ内に正しく置かれていることをご確認ください。 • ディスクの再生面に傷やほこりがある場合は、正常に再生できない場合があります。 • レーティング機能を解除するか、レーティングのレベルを変更してください。
接続したUSB機器が認識されない。	• USB機器の接続状態をご確認ください。 • 別のUSBケーブルでお試しください。 • USB延長ケーブル、またはUSB ハブなどを使用している場合、USB機器が正常に認識されない場合があります。 • USB機器を使用するために専用ソフトウェアなどのインストールが必要なUSB機器はご利用いただけません。 • 本機は、FAT32またはNTF形式でフォーマットされたUSB機器のみに対応します。
アングルを変更できない。	• アングルが設定されていないファイルでは、アングルの切り換え機能をご利用いただけません。
音楽/写真/動画ファイルを再生できない。	• 本機で再生できる形式のファイルであることをご確認ください。 • 本機が対応しているファイルコーデックであることをご確認ください。
リモコンが正常に動作しない。	• リモコンがリモコン受光部に向けられていることをご確認ください。 • 本機とリモコンの距離が離れていると、リモコンが動作しない場合があります。 • 本機とリモコンの間にものを置いたりしないでください。 • リモコンの電池を入れ替えてください。
電源プラグが接続されているのに電源が入らない。 本機が正常に動作しない。	次の手順にそって、本機をリセットしてください。 • 電源コードをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから再度接続します。

ネットワーク

このようなときは	ここをお調べください
BD-Live 機能が動作しない。	• BD-LiveコンテンツをダウンロードするためのUSB機器の空き容量が不足している場合があります。1GB以上の空き容量があることをご確認ください。 • 本機がネットワークに接続されていることをご確認ください。(14ページ) • BD-Live 機能を利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダー(ISP) にお問い合わせください。 • [設定] メニューの [BD-LIVE接続] の項目が [禁止] に設定されている場合は、[許可] に設定してください。
YouTube™ などのビデオストリームサービスの再生が途切れたり、停止することが多い。	• ビデオストリームサービスを利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダ(ISP) にお問い合わせください。
メディア サーバーが、デバイスリストに表示されない。	• メディア サーバー側にファイアウォールやウィルス対策ソフトウェアが実行されていないかご確認ください。 • メディアサーバー機器と本機が同じネットワーク上に接続されていることをご確認ください。
アクセスポイントまたは無線LANルーターに接続できない。	• 無線通信は、無線周波数を使用している家電製品などから干渉を受けることがあります。アクセスポイントやルーターの場所を移動してお試しください。
アクセスポイントが、「アクセスポイント名」のリストに表示されない。	• アクセスポイントまたは無線LANルーターから、SSIDが送信(ブロードキャスト)されていない場合があります。お使いのアクセスポイントまたは無線LANルーター側の設定をご確認ください。 • アクセスポイントまたは無線LANルーターなどで利用できる周波数の範囲が、本機の周波数と一致しない場合があります。アクセスポイント側の設定をご確認ください。

画像

このようなときは	ここをお調べください
画像が映らない。	• テレビ画面に本機からの画像が映るように、適切な入力モードをテレビ側で選択してください。 • テレビと本機の接続状態をご確認ください。 • 設定メニューのHDMIカラー設定が正しく設定されているかご確認ください。 • 本機で設定している解像度に、テレビが対応していない場合、画像が映らないことがあります。双方の機器が対応している解像度にそれぞれ変更してください。 • 本機のHDMI出力端子に接続された機器またはコンテンツが著作権保護に対応していることをご確認ください。
画像にノイズが現れる。	• テレビのカラーシステムと一致しない放送ステムで記録されたディスクを再生しています。 • テレビが対応する解像度に変更してください。
ブルーレイ3Dディスクの再生時に3D映像が表示されない。	• HDMIケーブル（タイプA、High Speed HDMI™ ケーブル）をご使用ください。 • テレビが3D映像の再生に対応していません。 • [設定] メニューの [3Dモード] オプションは [オフ] に設定されています。オプションを [オン] に設定します。

ソフトウェアのアップデートについて

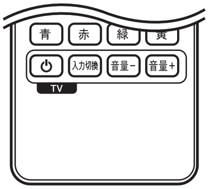
製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、本機のソフトウェアを最新バージョンに更新することができます。本機の最新のソフトウェアを取得するには（更新がある場合）、当社ホームページ（http://www.lg.com/jp）をご参照いただくか、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

オープンソースソフトウェアの通知

GPL、LGPL、およびその他のオープンソースライセンスに基づいたソースコードと関連のライセンス条項、免責、および著作権表示については、http://opensource.lge.comよりご確認いただけます。

本機のリモコンでテレビを操作する

以下のボタンで、本機と接続されているテレビを操作してください。



ボタン	操作
⏻ (テレビ 電源)	テレビの電源をオン/オフします。
入力切換	テレビとテレビに接続されている機器との入力を切り換えます。
音量 +/−	テレビの音量を調節します。

! ヒント

本機に接続した機器の種類や仕様により、ボタンの一部が動作しない場合もあります。

テレビをリモコンに設定する

付属のリモコンで、本機と接続されているテレビを操作することができます。以下のリストにお使いのテレビがある場合、メーカーコードを確認し、本機のリモコンに設定してください。

1. ⏻ (テレビ 電源) ボタンを押したままの状態で、数字ボタンを使ってテレビの製造メーカーコードを押します。

製造メーカー	コード番号
LG	1(初期設定)
シャープ	2, 3
東芝	4
パナソニック	5, 6
ソニー	7
日立	8
三菱	9

2. ⏻ (テレビ 電源) ボタンから手を放すと設定が完了します。

正しいメーカーコードを入力しても、お使いのテレビの機種よっては、全てもしくは一部のボタンが動作しない場合があります。なお、リモコンの電池を交換した際に、メーカーコードの設定も初期化されることがあります。その場合は、お手数ですが、もう一度メーカーコードを設定してください。

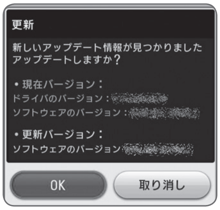
ネットワークソフトウェアの更新

更新の通知

本機をネットワークに接続すると、ソフトウェアのアップデートをかんたんに行うことができます。更新できるソフトウェアがあった場合、本機は次のように更新を通知します。

オプション 1:

1. 本機の電源を入れると、画面上に更新内容が表示されます。
2. 更新を行う場合は、[OK]を選択します。



[OK]	ソフトウェアの更新を開始します。
[取り消し]	更新メニューを終了し、電源を切ります。

オプション 2:

更新可能な新しいソフトウェアが見つかった場合、「ソフトウェアの更新」アイコンがホームメニューの下部に表示されます。
リモコンの青ボタンを押して更新を開始します。

ソフトウェアの更新

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。本機をソフトウェア更新サーバーに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。

ヒント

- ソフトウェアを更新する前に、本機に接続されたUSB機器やディスクなどは取り外してください。
- ソフトウェアを更新する前に、本機の電源を入れ直してください。
- **ソフトウェアの更新中に、プレーヤーの電源を切ったり、電源ケーブルを抜いたり、リモコンや本体のボタンを押したりしないでください。**
- 更新をキャンセルする場合は、そのまま本機の電源を入れ直してください。
- 以前のバージョンのソフトウェアに戻すことはできません。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。(14ページ参照)
2. [設定] メニューから [ソフトウェア] 項目を選択し、決定(⦿) を押します。
3. [更新］項目を選択して、決定(⦿) を押します。



本機が最新の更新状態であるか確認します。

ヒント

更新可能な新しいソフトウェアが存在しない場合、「更新が検出されません。」とメッセージが表示されます。ホームメニューに戻るには、決定（⦿）を押します。

6
その他

4. 新しいバージョンがある場合は、「ダウンロードしますか？」のメッセージが表示されます。
5. [OK] を選択して更新ファイルをダウンロードします。([取り消し] を選択すると更新が終了します）
6. 本機は、サーバーから最新の更新ファイルのダウンロードを開始します。
(ホームネットワークの状態によってはダウンロードに数分かかります。）
7. ダウンロードが完了すると、メッセージが表示されます。「ダウンロードが完了しました。アップデートしますか？」のメッセージが表示されます。
8. [OK］を選択して更新を開始してください。
([取り消し] を選択すると更新が中断されます。
次回にソフトウェアを更新する場合は、
ソフトウェアの更新手順を初めから再度
行ってください。

注意

ソフトウェアの更新中に本機の電源を切らないでください。

ヒント

更新中のソフトウェアに、ディスクドライバーのアップデートが含まれている場合は、ディスクトレイが自動で開くことがあります。

9. アップデート完了後、電源は数秒後に自動的にオフになります。
10. 電源を入れ直してください。システムが新しいバージョンで動作します。

ヒント

ネットワークの状態などにより、ソフトウェアの更新が正常に行えない場合があります。このような場合は、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。(51ページ)

追加情報

ファイルの要件

動画ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	Codec形式	Audio 形式	字幕
ディスク、USB	.avi, .divx, .mpg, .mpeg, .mkv, .mp4, .asf, .wmv, .m4v (DRM フリー), .vob, .3gp, .mov, .trp, .m2t, .mpe, .m1v, .m2v, .wm, .flv, .ts, .dat	DIVX 3.11, DIVX4, DIVX5, DIVX6 (標準再生のみ), XVID, MPEG1 SS, H.264/MPEG-4 AVC, MPEG2 PS, MPEG2 TS, VC-1 SM (WMV3)	Dolby Digital, DTS, MP3, WMA, AAC, AC3	SubRip (.srt / .txt), SAMI (.smi), SubStation Alpha (.ssa/.txt), MicroDVD (.sub/.txt), VobSub (.sub), SubViewer 1.0 (.sub), SubViewer 2.0 (.sub/.txt), TMPlayer (.txt), DVD Subtitle System (.txt)
DLNA	.avi, .divx, .mpg, .mpeg, .mkv, .mp4, .asf, .wmv, .m4v (DRM フリー), .mov, .trp, .m2t, .mpe, .m1v, .m2v, .flv, .ts	DIVX 3.11, DIVX4, DIVX5, DIVX6 (標準再生のみ) XVID, MPEG1 SS, H.264/MPEG-4 AVC, MPEG2 PS, MPEG2 TS, VC-1 SM (WMV3)	Dolby Digital, DTS, MP3, WMA, AAC, AC3	SubRip (.srt / .txt), SAMI (.smi), SubStation Alpha (.ssa/.txt), MicroDVD (.sub/.txt), SubViewer 1.0 (.sub), SubViewer 2.0 (.sub/.txt), TMPlayer (.txt), DVD Subtitle System (.txt)

音楽ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	サンプリング周波数	ビットレート	ご注意
ディスク、USB	mp3, .wma, .wav, .m4a (DRM フリー), .flac	32 - 48 kHz (WMA)の範囲内、16 - 48 kHz (MP3)の範囲内	32 - 192 kbps (WMA)の範囲内、32 - 320 kbps (MP3)の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。
DLNA	mp3, .wma, .wav, .m4a (DRM free)	32 - 48 kHz (WMA)の範囲内、16 - 48 kHz (MP3)の範囲内	32 - 192 kbps (WMA)の範囲内、32 - 320 kbps (MP3)の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。

写真ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	推奨サイズ	ご注意
ディスク、USB、DLNA、	.jpg, .jpeg, .png, .gif	4000 x 3000 ピクセル/24 ビット未満、3000 x 3000 ピクセル/32 ビット未満	プログレッシブと可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。

• Macintosh基盤のDLNAサーバーでは、ASF、WMA、WMVなどのファイル形式は再生できません。

6 その他

ヒント

- ファイル名は180文字に制限されます。
- 最大ファイル/フォルダー：2000個未満（ファイルとフォルダーの合計数）
- メディアを読み込む際には、記録されたファイルの数やサイズに応じて時間がかかる場合があります。
- ファイルの互換性は、サーバーによって異なる場合があります。
- DLNAサーバー機器に保存されたファイルの再生機能や互換性は、DLNAサーバーソフトウェア（Nero MediaHome 4 Essentials）の仕様を基準に評価されており、すべてのDLNAサーバー機器との互換性を保証するものではありません。
- 本書に記載されたファイル仕様は、すべての使用環境において互換性を保証するものではありません。メディアやファイルの仕様などによっては、正常に動作しない場合もあります。
- 再生中の動画の字幕ファイルは、付属のNero MediaHome4 Essentialsソフトウェアによって作成されたDLNAメディアサーバーでのみ入手できます。
- PCなどに接続したUSB機器やディスクのファイルは、ホームネットワーク上で正常に再生されない場合があります。
- 本機は、MP3ファイルが保存されたID3タグには対応しません。
- VBR方式で作成された音楽ファイルの場合、合計再生時間が正しく表示されないことがあります。
- CD / DVDまたは1.1バージョンまでのUSBに記録されたHD動画ファイルは、正しく再生されない場合があります。HD動画ファイルを再生する際には、ブルーレイディスクまたはUSB 2.0以上の記録メディアのご利用をおすすめします。
- 本機は、H.264/MPEG-4 AVC メインプロファイル、最大音量 Level 4.1 までに対応します。高レベルのファイルはサポートされていない場合があります。
- 本機は、GMC*1またはQPEL*2で記録されているファイイには対応していません。
- * 1：GMC - グローバル動き補償
  * 2：QPEL - クォーターピクセル

ヒント

- 「WMV 9コーデック」でエンコードされた「AVI」ファイルはサポートされていません。
- Unicode字幕の場合、本機はUTF-8形式を認識します。純粋なUnicode字幕ファイルには対応していません。
- ファイルの種類や記録の方法に応じて、再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクの再生には対応していません。
- 「.ts」、「.m2ts」、「.mts」、「.tp」、「.Trp」または「.m2t」などの拡張動画ファイルを再生する時、プレイヤーが字幕ファイルをサポートしていない場合があります。
- ビデオコーデックがMPEG2のTSまたはMPEG2 PSである場合、字幕は再生されません。

AVCHD規格 (AdvancedVideo Codec HighDefinition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。この規格のディスクは、主にビデオカメラの録画などで使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用しているAVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD 規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要があります。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

6

その他

DLNAについて

本機は、DLNA認定のデジタル メディアプレーヤーです。DLNA対応のデジタル メディアサーバー（PCなど）から映画、写真、音楽を表示および再生することができます。

Digital Living Network Alliance（DLNA）は、AV製品や、PCとその周辺機器、モバイル機器などのメーカーにより結成された業界団体です。DLNAによってホームネットワークを介して保存してあるコンテンツを容易に共有することができます。

DLNAから機器認証を受けた機器はDLNAロゴを使用することができ、DLNAが定めたガイドラインに従っている機器間は容易にお互いを認識することができます。本機は、DLAN1.5（Ver.1.5のガイドライン）に従っています。

本機にDLNA対応機器が接続されている場合、ソフトウェアまたは本機以外の機器の設定変更が必要になることがあります。詳細については、取扱説明書などをご参照ください。

注意

- DLNA認定サーバー（レコーダーなど）が公開している動画で、本機が対応しているファイル形式のコンテンツであっても再生出来ない場合があります。
- DLNA認定サーバー（レコーダーなど）が公開している動画の一時停止(❚❚)、早戻し（◀◀)、早送り(▶▶)や早送り再生の操作には対応していません。

必要なシステム環境

高精細映像を再生するには：

- HDMI入力に対応する高解像度ディスプレイをおすすめします。
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスクをご用意ください。
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP対応 DVI 入力端子に対応したディスプレイ機器が必要な場合があります（これらは、ディスクの作成者によりあらかじめ指定されています）。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

- デコーダー（ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrue HD、DTS、DTS-HD）を搭載したアンプやレシーバーなどが必要です。
- 選択したオーディオフォーマットに対応した+D20メインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

ご注意

- 本機は、ピクチャー・イン・ピクチャー（PIP）、セカンダリーオーディオおよび仮想パッケージなどのようなBD-ROMがサポートしているBONUSVIEW（BD-ROMのバージョン2プロファイル1バー ジョン1.1）を楽しむことができます。セカンダリービデオとオーディオは、PIP機能に対応し、ディスクから再生することができます。再生方法については、ディスク側の取扱説明書などをご参照ください。
- DVDコンテンツのアップコンバートを行ったり、より高画質の映像を楽しむには、HDMI接続を行うか、またはHDCP規格に対応するDVI入力での接続が必要です。
- BD-ROMやDVDディスクの仕様によっては、機能や操作の一部をご利用いただけない場合があります。
- HDMI接続での音声出力は、DolbyTrueHD、Dolby Digital PlusやDTS-HDの場合、最大7.1チャンネルまで対応します。

オーディオ出力の仕様

種類 ＼ 端子と設定	アナログ出力 2CH	光 (DIGITAL AUDIO OUT)*3		
		PCM ステレオ	DTS 再エンコード *4	ビットストリーム
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS 2ch	Dolby Digital
DTS	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch

種類 ＼ 端子と設定	HDMI OUT			
	PCM ステレオ	PCM マルチチャンネル	DTS再エンコード *4	ビットストリーム*1 *2
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS 2ch	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Linear PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Linear PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Linear PCM 7.1ch

*1 [デジタル出力]オプションが[ビットストリーム]に設定されている場合は、副音声、対話の音声が出力ビットストリームに含まれていない可能性があります。
（LPCMコーデックは、常に副音声と対話の音声が含まれています。）

*2 [デジタル出力]オプションは[ビットストリーム]に設定されていても､接続されているHDMIデバイスのデコード能力に応じて本機は自動的にHDMIオーディオを選択します。

*3 PCM オーディオ出力では、デジタル音声出力端子からのサンプリング周波数は96 kHzに制限されています。

*4 [HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS 再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz と5.1 Ch に制限されます。[HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコード オーディオはBD-ROM ディスクから出力され、元のオーディオはその他のディスク（[ビットストリーム]など)に出力されます。

- HDMI OUT端子が高速HDMI™Cable とドルビーデジタルプラス/ドルビーTrueHDのテレビに接続し､HDMIジャック出力端子から出力されている場合は､デジタル音声出力端子は（HDMIおよびデジタルオーディオ出力の時）｢PCM2ch｣に制限されています。

6 その他

- オーディオは、オーディオCDの再生の間、MP3/WMAファイルのPCM48 kHz/16ビットPCMと44.1 kHz/16ビットとして出力されます。
- アンプ（またはAVレシーバー）は[設定]メニューのオプションで[デジタル出力]と[サンプリング周波数] を使用して受け入れるデジタル･オーディオ出力および最大サンプリング周波数を選択する必要があります。（23ページ）
- [デジタル出力]オプションが[ビットストリーム]に設定されている場合、デジタルオーディオの接続で（DIGITAL AUDIO OUTまたはHDMI OUT）、BD-ROMのディスクのメニューボタンの音を聞くことはできません。
- デジタル出力のオーディオ形式が、受信機の性能と一致しない場合は、受信機はノイズ音を再生するか全く音がしません。
- デジタルマルチチャンネルデコーダが装備されている場合のみ、デジタル接続を介して、マルチチャネルデジタルサラウンドサウンドを再生することができます。

エリアコード一覧

以下のリストからエリアコードを選択してください。

エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード
アフガニスタン	AF	フィジー	FJ	モナコ	MC	シンガポール	SG
アルゼンチン	AR	フィンランド	FI	モンゴル	MN	スロバキア共和国	SK
オーストラリア	AU	フランス	FR	モロッコ	MA	スロベニア	SI
オーストリア	AT	ドイツ	DE	ネパール	NP	南アフリカ	ZA
ベルギー	BE	英国	GB	オランダ	NL	韓国	KR
ブータン	BT	ギリシャ	GR	オランダ領アンティル諸島	AN	スペイン	ES
ボリビア	BO	グリーンランド	GL	ニュージーランド	NZ	スリランカ	LK
ブラジル	BR	香港	HK	ナイジェリア	NG	スウェーデン	SE
カンボジア	KH	ハンガリー	HU	ノルウェー	NO	スイス	CH
カナダ	CA	インド	IN	オマーン	OM	台湾	TW
チリ	CL	インドネシア	ID	パキスタン	PK	タイ	TH
中国	CN	イスラエル	IL	パナマ	PA	トルコ	TR
コロンビア	CO	イタリア	IT	パラグアイ	PY	ウガンダ	UG
コンゴ	CG	ジャマイカ	JM	フィリピン	PH	ウクライナ	UA
コスタリカ	CR	日本	JP	ポーランド	PL	アメリカ合衆国	US
クロアチア	HR	ケニア	KE	ポルトガル	PT	ウルグアイ	UY
チェコ共和国	CZ	クウェート	KW	ルーマニア	RO	ウズベキスタン	UZ
デンマーク	DK	リビア	LY	ロシア 連邦	RU	ベトナム	VN
エクアドル	EC	ルクセンブルク	LU	サウジアラビア	SA	ジンバブエ	ZW
エジプト	EG	マレーシア	MY	セネガル	SN		
エルサルバドル	SV	モルディブ諸島	MV				
エチオピア	ET	メキシコ	MX				

言語コード一覧

以下のリストからご希望の言語コードを確認し、初期設定に入力してください。
[ディスク音]、[ディスク字幕言語]、[ディスクメニュー言語]

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	フランス語	7082	リトアニア語	7684	シンド語	8368
アフリカーンス語	6570	フリジア語	7089	マケドニア語	7775	シンハリ語	8373
アルバニア語	8381	ガリシア語	7176	マダガスカル語	7771	スロバキア語	8375
アムハラ語	6577	グルジア語	7565	マライ語	7783	スロベニア語	8376
アラブ語	6582	イツ語	6869	マラヤーラム語	7776	スペイン語	6983
アルメニア語	7289	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スーダン語	8385
アッサム語	6583	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	スワヒリ語	8387
アイマラ語	6588	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	スウェーデン語	8386
アゼルバイジャン語	6590	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タガログ語	8476
バシキール語	6665	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タジク語	8471
バスク語	6985	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	タミール語	8465
ベンガル語	6678	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	タイ語	8472
ビハール語	6672	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	トンガ語	8479
デルターニュ語	6682	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トルコ語	8482
ブルガリア語	6671	インターリングア語	7365	ペルシャ語	7065	トルクメン語	8475
ビルマ語	7789	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トウィ語	8487
ベロルシア語	6669	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	ウクライナ語	8575
中国語	9072	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウルドゥー語	8582
クロアチア語	7282	カンナダ語	7578	ラエト語	8277	ウズベク語	8590
チェコ語	6783	カシミール語	7583	ルーマニア語	8279	ベトナム語	8673
デンマーク語	6865	カザフ語	7575	ロシア語	8285	ボラピュック語	8679
オランダ語	7876	キルギス語	7589	サモア語	8377	ウェールズ語	6789
英語	6978	韓国語	7579	サンスクリット語	8365	ウォロフ語	8779
エスペラント語	6979	クルド語	7585	スコットランド高地ゲール語	7168	ホサ語	8872
エストニア語	6984	ラオス語	7679	セルビア語	8382	イディッシュ語	7473
フェロー語	7079	ラテン語	7665	セルボ クロアチア語	8372	ヨルバ語	8979
フィジー語	7074	ラトビア語	7686	ショナ語	8378	ズールー語	9085
フィンランド語	7073	リンガラ語	7678				

商標およびライセンス

Blu-ray Disc™, Blu-ray™, Blu-ray 3D™, BD-Live™, BONUSVIEW™ およびこれらのロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

JavaはOracleおよび/またはその関連会社の商標です。

HDMIとHDMI高解像度マルチメディアインターフェース、そしてHDMIロゴは米国やその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

「x.v.Color」はソニー株式会社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

U.S.のライセンスの下に製造されています。特許番号5,451,942; 5,956,674; 5,974,380;5,978,762; 6,226,616; 6,487,535;7,212,872;7,333,929; 7,392,195; 7,272,567 および他のU.S. および世界中の特許発行および保留DTSおよびそのシンボルはDTS, Inの登録商標です。また、DTS-HD、DTS-HD Master Audio、およびDTSのロゴは、DTS, Inの商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

Wi-Fi Protected Setupのマークは、Wi-Fi Allianceの商標です。

「AVCHD」 および「 AVCHD」 ロゴは
パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

DivX®、DivX Certified®、および関連ロゴはDivX, Incの商標であり、ライセンスの下に使用されます。

グレースノート®は、グレースノートのロゴとロゴタイプ、および以下の「Gracenoteによって供給される」ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote,Inc.の登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されています。

コンテンツの部分の著作権は©グレースノートまたはそのプロバイダです。

グレースノート®エンドユーザーライセンス契約

このアプリケーションまたはデバイスは、カリフォルニア州エメリービルのグレースノート株式会社（以下「Gracenote」）からのソフトウェアが含まれています。グレースノートからのソフトウェア（「グレースノートソフトウェア」）のソフトウェアは、このアプリケーションが、ディスクおよび/またはファイルの識別を行うことを可能にし、オンラインサーバーからの名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）を含む、または埋め込まれた音楽関連情報を入手することができるデータベース（以下総称して、「Gracenoteサーバー」）他の機能を実行します。このアプリケーションまたはデバイスの意図したエンドユーザー機能のみにより、Gracenoteデータを使用することができます。

あなたは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェアを使用し、個人的な非商業的目的のみのためにGracenoteサーバーを使用することに同意します。あなたは、Gracenoteソフトウェアまたは第三者にGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。あなたは本契約で明示的に許可されている場合を除き、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用したり、悪用しないことに同意します。

これらの制限事項に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用についての、非排他的ライセンスは終了することに同意します。ライセンスが終了した場合は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、Gracenoteサーバーのあらゆる使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteはすべての所有権を含むGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー内のすべての権利を留保します。いかなる状況においても、Gracenoteは、あなたが提供するあらゆる情報に対して、損害賠償責任を負いません。あなたは、Gracenote、Incが直接自身の名前であなたに対して本契約に基づく権利を行使することに同意します。

Gracenoteのサービスは統計目的でクエリを追跡するために独自の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子の目的は、Gracenoteのサービスがあなたが誰か知ることなくクエリをカウントできるようにすることです。詳細については、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーのためのWebページをご参照ください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの各項目はライセンスされています。Gracenoteは、Gracenoteサーバー内からの任意のGracenoteデータの正確性に関して、いかなる表明または保証、明示または黙示を行いません。GracenoteはGracenoteサーバーからデータを削除したり、またはGracenoteが十分とみなす何らかの理由によりデータのカテゴリを変更する権利を留保しています。GracenoteソフトウェアまたはgracenoteサーバーがエラーがないかまたはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能の中断がないという保証はありません。Gracenoteは、Gracenoteが将来新しい拡張または追加のデータタイプまたはカテゴリを提供する義務を負いません。また、いつでも自由にそのサービスを中止できます。

Gracenoteは、すべての保証、明示または黙示を含むがそれに制限のない、商品性の黙示の保証、特定目的への適合性、および非侵害に責任を負いません。Gracenoteは、GracenoteソフトウェアまたはいかなるGracenoteサーバーの使用から得られる結果をも保証いたしません。いかなる場合においても、結果的損害または偶発的損害に対するまたは逸失利益もしくは収入の消失について、Gracenoteは責任を負いません。

Cinavia からのお知らせ

この製品はCinavia技術を利用して、商用製作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center. P.O.Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporationのライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国第7369677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2012 Verence Corporation.すべての権利はVeranceが保有しています。

仕様

一般	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	12 W
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 430 mm x 43.5 mm X 208.5 mm
本体質量	約 1.45 kg
許容周囲温度	5 °C - 35 °C
許容相対湿度	5 % - 90 %

出力	
HDMI 出力 (映像/音声)	19ピン（タイプA、HDMI™ Connector)
デジタル音声出力 (光) 端子	3 V (p-p)、光コネクター 1系統

システム	
レーザー	半導体レーザー
波長	405 nm / 650 nm
信号システム	標準 NTSC カラーテレビシステム
LAN ポート	Ethernet コネクタ 1系統、10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（内蔵アンテナ）	統合IEEE 802.11n(5 GHzと2.4 GHz帯域)ワイヤレスネットワーク接続は802.11a/b/g Wi-Fiネットワークと互換します。
バス電源（USB）	DC 5 V ⎓ 500 mA

- 設計や仕様は予告なしに変更する場合があります。

お手入れについて

使用上のご注意

機器を輸送するとき

製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を輸送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

機器のお手入れ

本機のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用してください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、機器の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

外部表面をクリーンな状態に保つ には

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

機器のメンテナンス

光ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。詳細についてはカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

ディスクについてのご注意

ディスクのお取り扱い

- ディスクの再生面を手で触れず、指紋がつかないように、ディスクの両端を持ってください。
- 再生面には紙やテープなどを絶対に貼らないでください。
- ディスクのご使用後はケースに入れて保管してください。
- ディスクを直射日光に当たる所や温度が高い所には置かないでください
- ディスクを直射日光の当たる車内などに放置ないでください。

ディスクのお手入れ

指紋や誇りによるディスクの汚れは、画質の乱れや音質の低下の原因になります。再生する前に、乾いた柔らかい布でディスクの中央から外側に向かって拭いてください。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

ネットワーク サービスに関する重要な情報

第三者によって、または第三者を通じて（それぞれ以下「サービス プロバイダ」といいます）提供されるか、または利用可能となる、すべての情報、データ、ドキュメント、通信、ダウンロード、ファイル、テキスト、画像、写真、グラフィックス、ビデオ、ウェブキャスト、出版物、ツール、リソース、ソフトウェア、コード、プログラム、アプレット、ウィジェット、アプリケーション、プロダクト、その他のコンテンツ（以下「コンテンツ」といいます）、およびすべてのサービスと提供物（以下「サービス」といいます）に関する責任は、それを提供するサービス プロバイダ側にあります。

本機を通じてサービス プロバイダが提供するコンテンツおよびサービスの利用可能性およびアクセス手段は、事前の通知なく変更される場合があります。これには、コンテンツまたはサービスの全部または一部の一時中断、削除または停止が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

コンテンツまたはサービスに関するすべての質問または問題については、サービス プロバイダのWebサイトで最新の情報を参照するものとします。当社は、コンテンツまたはサービスに関するお客様サービスの責任または法的義務を一切負いません。コンテンツまたはサービスに関するいかなる質問または要望も、それぞれのコンテンツおよびサービス プロバイダに直接連絡する必要があります。

当社は、サービス プロバイダが提供するいかなるコンテンツまたはサービスにも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスのいかなる変更、削除、停止にも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスの利用可能性またはアクセス方法を保証または確約しないことにご 注意ください。

6

その他

修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーサポートセンター

（フリーダイヤル） **0120-813-023**

携帯電話・PHSからも御利用いただけます

受付時間　　月～金曜日　9:00～20:00
土・日曜日　祝日9:00～18:00（年末年始を除く）
IP電話など、上記番号がご利用いただけない場合
TEL03-5675-7323　FAX03-5675-7335

修理に関するご案内

「故障かな？」と思ったら、取扱説明書を再度確認していただき、直らない場合には弊社まで修理をご依頼ください。

保証書に「出張修理」と明記してあるものや、冷蔵庫・洗濯機・エアコン・大型テレビなどの大型家電製品は出張修理をおこないます。
弊社カスタマーセンターまでご依頼ください。
＜持込修理依頼方法＞
お買上げの販売店様に製品を持込んでいただくか、カスタマーサポートセンターまでご連絡ねがいます。

LG Electronics Japan 株式会社
〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階